

生き生き津高

Vol. 1 9



三重県立津高等学校 2018. 3

多様性の中で力をつける～そこは「宇宙」。

三重県立津高等学校長

中川 弘文

「生き生き津高」は、本校の学校行事や生徒会活動、部活動等、本校生徒の一年の活動記録をまとめたものです。津高生にとっては自分たちの「いま」を映し出した記録集であるとともに、中学生のみなさんには親しみやすい学校案内としての役割を果たしています。昨年度に改訂を行い、本校公式ホームページを通して閲覧可能な電子ファイルとしました。

津高校は、『自主・自律』の校訓のもと、高い知性と教養を持ったリーダーが育つ学校」を目指し、教育活動を展開しています。本物との出会い、多くの人との対話、探究活動を大切にして、生涯を通して、主体的に学ぶための基礎づくりを行っています。

本年度の学校案内ポスター（右）は2年生の生徒がデザインしました。宇宙空間を学年別の体操服の色を表す三色の列車が走る。その隣で宇宙を自由に動き回る子どもたち。タイトルは「そこは、宇宙。」とだけ書かれています。

ひとり一人の個性や才能のちがいをお互いが認め合い、尊重し合う。切磋琢磨する中で、自分がやりたいことに気づき、自分を高めることができる。多様性や自主性を重んじる本校のイメージが描かれています。多様性こそ津高の強み、魅力です。

本冊子において、生徒たちの生き生きとした姿をご覧ください。



もくじ

1. 学校行事や委員会活動紹介

スクールライフ	3
生徒会活動・生徒会行事	5
修学旅行	7
東京大学キャンパスツアー	10
ニュージーランド研修	13
キャリアプロジェクト「西村ゼミ」	17
SSH	19

2. 部活動紹介

ボート部	29
弓道部	30
書道部	32
新聞・写真部	37
クイズ研究同好会	39
水泳部	40
バドミントン部	42
剣道部	44
ラグビー部	44
卓球部	45
音楽部	46
SSC（スーパー・サイエンス・クラブ）	47
陸上競技部	48
バレーボール部	49
バスケットボール部	51
サッカー部	54
テニス部	55
ソフトテニス部	56
ダンス部	57
ハンドボール部	58
ソフトボール部	59
硬式野球部	60
軟式野球部	60
吹奏楽部	61
美術部	62
ホームライフ部	63
茶道部	64
Jr. Com 部	65
ジャグリング部	66
軽音楽部	67
邦楽部	67
将棋部	67
演劇同好会	68
国際交流同好会	69
文芸部	69

3. 個人活動紹介

インターハイ高校生活動	71
英語スピーチ・スキット・英作文コンテスト	72
尾鷲節	74
フェンシング	75
数学オリンピック	76
短歌・競技かるた	77
読書感想文	78
読書感想画	83
高校生ビブリアバトル	85
健康に関する作文	87

School Life

前期

4月

始業式・着任式・入学式、HR写真撮影
1年オリエンテーション
定期健康診断、面談週間、遠足
縦割りディスカッション、2・3年確認テスト

5月

前期生徒会役員選挙、定期健康診断
確認テスト、県総体、1・2年確認テスト

6月

中間考査、教育実習
東海総体、2年生修学旅行
1・3年校内模試、3年確認テスト

7月

2年校内模試、夏季レク大会
保護者会、「自分探し」、夏季課外

8月

夏季課外、「自分探し」
1・2年確認テスト、3年校内模試
中学生対象津高入門講座・見学会

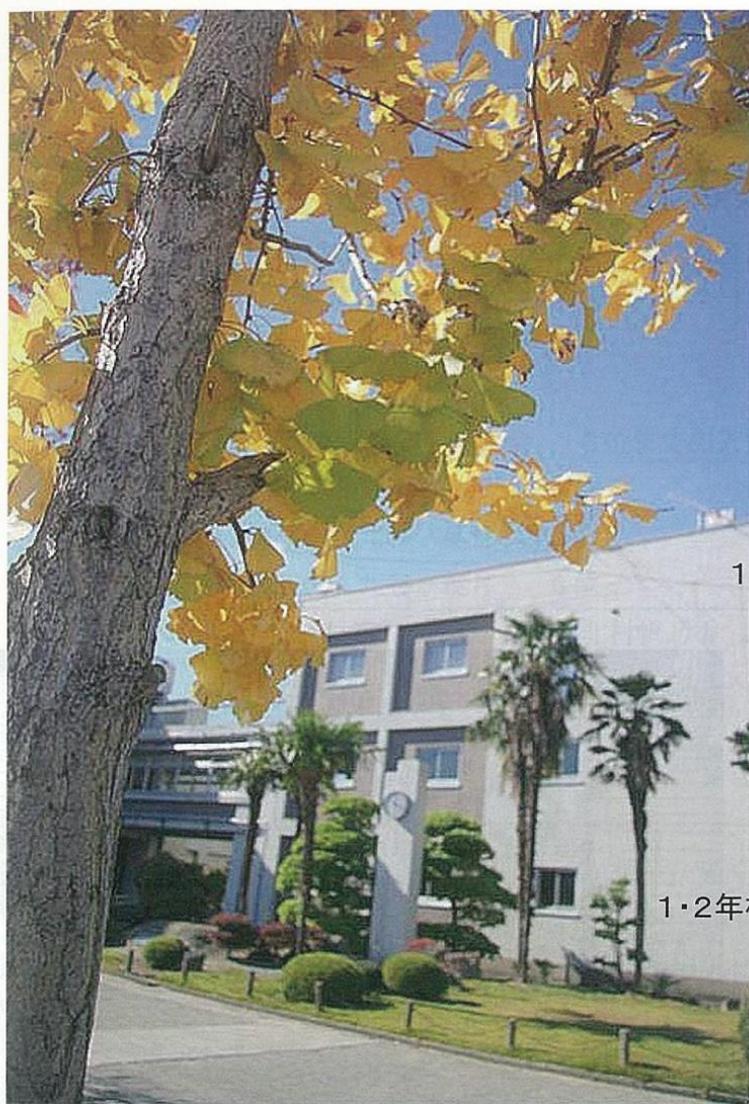
9月

文化祭、期末考査



School Life

後期



芸術鑑賞、体育祭
後期始業式、防災訓練
面談週間
人権学習
後期生徒会役員選挙

10月

創立記念日(1日)
1・2・3年校内模試

11月

1・2年中間考査、3年学年末考査
3年特編授業

12月

1・2年確認テスト
大学入試センター試験

1月

SSH 研究成果発表会
1・2年校内模試、国公立大学前期試験
卒業を祝う会(同窓会)

2月

卒業式、1・2年学年末考査
国公立大学後期試験
春季レク大会、修了式

3月

津高校 生徒会活動紹介

「生徒会会長を経験して」

2年 松林 由起(西橋内中)

津高校は「自主・自律」のもと、生徒が主体となって生徒会活動を行っています。仕事内容は主に対面式や体育祭、文化祭などの行事の企画、運営です。会長はその行事で挨拶をしたり、表彰伝達をしたりしています。また、外務活動にも力を入れ、東海の生徒会役員が集まり、生徒会活動についての議論や意見交換をする東海生徒会連盟、全国の生徒会役員が集まる全国高校生徒会大会に参加しました。他校と生徒会のあり方は違うこともありますが、同じ悩みを持った生徒と関わることでいい刺激になり、生徒会活動に対してのモチベーション維持につながり、生徒会の可能性を再確認することができました。

生徒会活動を通して一番印象に残ったのは、生徒会は「生徒の代表」ではなく、「生徒全員」を指す言葉だということです。私たちはその本部役員のようなもので生徒会と生徒の壁はないのだと知ることができました。この思いを後輩にも引き継いでもらい、より良い学校作りに励んでほしいと思います。

「文化祭担当の役割について」

1年 田路 祐也 (天栄中)

津校の文化祭では、総合文化センターで行われる非公開の部と、本校で行われる一般公開の部の2つに分かれており、僕たち生徒会はその運営・企画を担当しています。

非公開の部では、主に吹奏楽部や軽音楽部などの文化系クラブの発表を中心に行っております。また、伝統である教員劇や有志発表など津校ならではのユニークな出し物もあり、

毎年大いに盛り上がります。生徒会は、当日のタイムテーブルの作成、出演者との打ち合わせなどを行い、生徒たちと一緒に文化祭を作り上げていきます。

一般公開の部では、各クラスの模擬店や、非公開で発表をしない書道部や茶道部などを含む文化系クラブの発表を行っており、校外からも多くの方が訪れます。生徒会は各クラスの企画のチェックや当日のパフレットの作成・配布などを行い、企画を支える重要な役割を担っています。また、文化祭アーチの作成などの大変ではあるけれど、とても達成感のある仕事を行います。



「レク大担当の役割について」

1年 山川 琉誠 (東観中)

レクリエーション大会、通称「レク大」は春と夏に3日間ずつ行われる津高で最も盛り上がる行事の1つです。

普段は勉強ばかりの人もこの日は授業もないため、全力で遊ぶことができます。

種目は、バスケ、バレー、サッカーといった運動系からオセロや大富豪などの頭脳戦系、七並べなどの運次第と様々です。また、レク大を通して先生やクラスの団結力を高めることができるのも魅力の1つです。

さて、レク大担当の仕事についてですが、主な仕事は選手登録、会場のセッティング、審判と様々です。当日は皆が楽しめるように動き回ったりするため忙しいですが、とてもやりがいのある仕事です。



「体育祭担当の役割について」 1年 池山 愛斗 (三重大学附属中)

体育祭は、1年間の行事の中で唯一3学年全員で協力する行事です。

競技は、障害物競争・騎馬戦・クラス対抗リレー・120人競技など様々です。

120人競技はそれぞれの団が、組体操やダンスを考えて作り上げます。一所懸命練習したパフォーマンスはどの団もとても完成度が高く見ていてとても楽しむことができます。

今年の体育祭も素晴らしいものができるように体育祭委員と協力して頑張ります。



「津高生の修学旅行だってよ。」

修学旅行委員長 2年 三宅 綾香(西郊中)

私たち委員は各クラス2人ずつ、総勢18人で活動しました。私たちの代から修学旅行が3泊4日になり、3つのコースに分かれて旅することになりました。日数が増えたことで、より自由度は上がりましたが、初めての行程ということで、慎重に判断していく必要がありました。委員の仕事は、行程の決定はもちろん、しおりの作成や、クラスでの話し合いをリードすることなどがありました。また、クラスの代表としてクラスの提案を旅行会社の方に伝えたり、反対に旅行会社の方からのアドバイスをクラスに伝えたりするのも大きな仕事でした。どれも重要なものばかりで、焦ることもありました。ですが、委員全員がそれぞれの力を十分に発揮し、1つずつ着実にこなせていたと思います。修学旅行の主役は私たち2年生全員です。委員だけで話を進めるのではなく、各クラスで、時にはクラスを超えて協力し、行程を完成させました。仲間と思いきいに行き先を考え、行程を決めていくのは、とてもわくわくする、楽しいことでした。当日は、自分たちで考えた行程を思う存分楽しみ、中には予想以上に楽しめる場所もあったりと、大いに盛り上がりました。目的地で、移動中のバスや飛行機の中で、旅館で、いろいろな場所で、みんなの笑顔があふれていました。楽しすぎて、3泊4日が短く感じられ、終わってほしくない、と思うほどでした。こんなにすばらしい最高の修学旅行になったのは、生徒をはじめ、先生方や旅行会社の方々の協力、助けがあったからこそだと思います。

私個人としては、委員長ということで責任が大きかったですが、他の委員や先生方のおかげで気負いすぎることなく、やり切ることができたと思っています。今回、修学旅行委員として活動したことで準備の大切さを学びました。このことを、これからの生活にも活かして、より充実した生活を送りたいと考えています。修学旅行に委員長として深く関わったことを誇りに思います。

津高校ならではの自由さと生徒全員で考えぬいた、オリジナルの修学旅行は、何事にもかえ難い最高の思い出です。これからもそんな修学旅行が続くことを期待しています。



2017 年度修学旅行 行程表

日	月日	行 程
1	6/20 (火)	<p>十勝コース③⑤⑥ 学校 7:15・・・8:50 中部国際空港 <u>ANA703</u> 9:50・・・11:35 新千歳空港 12:15・・・14:00 体験学習(ラフティング・MTB) 17:20・・・18:50 ホテル(泊)</p> <p>函館コース②⑧⑨ 学校 8:00・・・9:30 中部国際空港 <u>ANA4827</u> 10:30・・・12:00 函館空港 12:50・・・13:10 トリスチヌ修道院 13:50・・・14:15 五稜郭公園 16:15・・・16:30 ホテル(泊) (19:00～21:00 夜景観賞)</p> <p>網走コース①④⑦ 学校 10:00・・・11:30 中部国際空港 <u>ANA325</u> 12:30・・・14:15 旭川空港 14:45・・・15:15 旭山動物園 16:30・・・⑦20:00 ホテル(泊) ……①④19:00 ファミリーレストラン e'f (夕食) 20:00・・・21:50 ホテル(泊)</p>
2	6/21 (水)	<p>①ホテル 8:15・・・10:00 ウトロ港 10:30・・・(知床半島周遊)・・・12:00 ウトロ港 12:10・・・12:30 道の駅うしろシエトク 夷知床(昼食) 13:30・・・16:05 阿寒湖 17:30・・・19:00 ホテル(泊)</p> <p>②ホテル 8:30・・・8:45 函館元町散策 10:30・・・12:30 ドライブインかなや(昼食) 13:20・・・14:50 登別マリンパークニクス 17:00・・・17:30 ホテル(泊)</p> <p>③ホテル 9:00・・・9:15 十勝が丘展望台 9:45・・・10:15 柳月スイートピアガーデン 11:30・・・11:45 六花亭 12:15・・・12:30 はげ天本店(昼食) 13:30・・・15:50 阿寒湖・阿寒湖温泉 17:00・・・19:00 ホテル(泊)</p> <p>④ホテル 7:25・・・9:25 知床峠 9:45・・・10:15 ウトロ港 10:30・・・(知床半島周遊)・・・12:00 ウトロ港 12:10・・・12:20 知床さいはて市場(昼食) 13:20・・・16:05 阿寒湖 17:30・・・19:00 ホテル(泊)</p> <p>⑤ホテル 8:30・・・10:00 タウシュベツ川展望台 10:20・・・11:20 然別湖クルーズ 12:40・・・12:50 ホテル風水(昼食) 13:30・・・16:10 柳月スイートピアガーデン 16:50・・・17:10 帯広駅周辺 18:40・・・19:00 ホテル(泊)</p> <p>⑥ホテル 8:30・・・9:45 ナイタイ高原牧場 10:00・・・11:00 タウシュベツ川展望台 11:20・・・13:00 とかち豚丼夢の蔵(昼食) 13:40・・・14:30 六花の森 15:30・・・15:50 幸福駅 16:00・・・16:40 帯広駅周辺 18:30・・・19:00 ホテル(泊)</p> <p>⑦ホテル 6:30・・・8:15 ウトロ港 8:30・・・(知床半島周遊)・・・10:40 ウトロ港 10:50・・・12:30 オホーツクパザール(昼食) 13:30・・・13:45 博物館網走監獄 14:50・・・16:30 摩周湖 17:00・・・19:00 ホテル(泊)</p> <p>⑧ホテル 8:30・・・8:45 函館市内散策(赤レンガ付近) 10:30・・・12:30 ドライブインかなや(昼食) 13:20・・・14:10 そうべつくだもの村 15:10・・・15:30 洞爺湖 15:50・・・17:00 ホテル・・・登別地獄谷散策・・・18:00 ホテル(泊)</p> <p>⑨ホテル 8:30・・・8:45 函館元町散策 10:25・・・12:30 ドライブインかなや(昼食) 13:20・・・14:10 洞爺湖遊覧船 15:50・・・16:50 地球岬 17:10・・・18:00 ホテル(泊)</p>



3 日 目	6/22 (木)	<p>①ホテル 8:40・・・9:10 釧路市湿原展望台 10:00・・・12:30 カントリーパ°ハ°(昼食)13:30・・・15:30 夕張メロト° 15:50・・・17:30 羊ヶ丘展望台 18:00・・・18:30 テレビ°塔(班別行動)19:10・・・(バス)・・・19:30 キリンビ°ール園 20:50・・・21:00 ホテル(泊)</p> <p>②ホテル 8:40・・・9:00 クマ牧場 10:15・・・12:00 羊ヶ丘展望台 12:45・・・13:30 札幌場外市場 14:30・・・14:50 白い恋人パ°ーク 15:50・・・16:30JR 札幌駅(班別行動)・・・(各班徒歩)・・・19:30 キリンビ°ール園 20:50・・・21:00 ホテル(泊)</p> <p>③ホテル 8:40・・・12:10JR 札幌駅(自由昼食)14:45・・・15:15 札幌オリ°ンピ°ックミュージアム 16:00・・・16:30 白い恋人パ°ーク 17:45・・・18:30 テレビ°塔・・・(各班徒歩)・・・19:30 キリンビ°ール園 20:50・・・21:00 ホテル(泊)</p> <p>④ホテル 8:40・・・9:10 釧路市湿原展望台 10:10・・・12:30 清水ドライブイン°展望レストランとかち亭(昼食)13:30・・・16:00JR 札幌駅(班別行動)・・・(各班徒歩)・・・19:30 キリンビ°ール園 20:50・・・21:00 ホテル(泊)</p> <p>⑤ホテル 8:40・・・12:30 小樽市内散策(自由昼食)15:00・・・15:20 小樽水族館 16:40・・・18:00 藻岩山ロープウェイ 19:00・・・(バス)・・・19:30 キリンビ°ール園 20:50・・・21:00 ホテル(泊)</p> <p>⑥ホテル 8:40・・・11:10 輪厚 PA11:30・・・12:30 小樽市内散策(自由昼食)15:40・・・17:00 羊ヶ丘展望台 17:30・・・18:00 テレビ°塔(班別行動)・・・(各班徒歩)・・・19:30 キリンビ°ール園 20:50・・・21:00 ホテル(泊)</p> <p>⑦ホテル 8:40・・・13:00 新千歳空港(自由昼食)14:30・・・15:30 羊ヶ丘展望台 16:00・・・16:30 白い恋人パ°ーク 17:30・・・18:00JR 札幌駅・・・(班別行動)・・・テレビ°塔 19:10・・・(バス)・・・19:30 キリンビ°ール園 20:50・・・21:00 ホテル(泊)</p> <p>⑧ホテル 8:40・・・10:00 羊ヶ丘展望台 10:30・・・11:15 サッポ°ロさとラント°(体験°昼食)14:15・・・14:45JR 札幌駅(班別行動)・・・(各班徒歩)・・・19:30 キリンビ°ール園 20:50・・・21:00 ホテル(泊)</p> <p>⑨ホテル 8:40・・・10:30 白い恋人パ°ーク 11:30・・・12:15 ラ°メン横丁(自由昼食)13:50・・・14:10 円山動物園 15:40・・・16:10JR 札幌駅(班別行動)・・・(各班徒歩)・・・19:30 キリンビ°ール園 20:50・・・21:00 ホテル(泊)</p>
4 日 目	6/23 (金)	<p>①ホテル 8:40・・・9:30 小樽市内散策(昼食)13:30・・・15:00 新千歳空港 <u>ANA710</u> 16:05・・・17:50 中部国際空港 18:30・・・20:15 学校</p> <p>②ホテル 8:10・・・9:00 小樽市内散策(昼食)12:50・・・14:20 新千歳空港 <u>ANA4836</u> 15:20・・・17:05 中部国際空港 17:45・・・19:20 学校</p> <p>③ホテル 8:10・・・9:00 小樽市内散策(昼食)12:00・・・13:30 新千歳空港 <u>JAL3110</u> 14:25・・・16:10 中部国際空港 16:50・・・18:30 学校</p> <p>④ホテル 8:40・・・9:30 小樽市内散策(昼食)13:30・・・15:00 新千歳空港 <u>ANA710</u> 16:05・・・17:50 中部国際空港 18:30・・・20:15 学校</p> <p>⑤ホテル 8:20・・・9:00 羊ヶ丘展望台 9:30・・・10:00 テレビ°塔(班別行動)11:00・・・12:10 新千歳空港(昼食)<u>JAL3110</u> 14:25・・・16:10 中部国際空港 16:50・・・18:30 学校</p> <p>⑥ホテル 9:00・・・9:30 円山動物園 11:30・・・12:40 新千歳空港(昼食)<u>JAL3110</u> 14:25・・・16:10 中部国際空港 16:50・・・18:30 学校</p> <p>⑦ホテル 8:40・・・9:30 小樽市内散策(昼食)13:30・・・15:00 新千歳空港 <u>ANA710</u> 16:05・・・17:50 中部国際空港 18:30・・・20:15 学校</p> <p>⑧ホテル 8:20・・・9:10 小樽市内散策(昼食)12:50・・・14:20 新千歳空港 <u>ANA4836</u> 15:20・・・17:05 中部国際空港 17:45・・・19:20 学校</p> <p>⑨ホテル 8:20・・・9:10 小樽市内散策(昼食)12:50・・・14:20 新千歳空港 <u>ANA4836</u> 15:20・・・17:05 中部国際空港 17:45・・・19:20 学校</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div>

「津高等学校 東京大学キャンパスツアー」

2017年7月18日～19日

目的

東京大学合格を目指しているあなたが、その志望をさらに明確にさせて、目標達成への学習意識を強くするために、他のオープンキャンパスなどでは味わえない津高校独自の研修として、「東大キャンパスツアー」を実施します。1、2年生の今、東京大学の本質にふれるために、実際に東京大学の教授の先生方から学び、キャンパスから何かを感じ取って、将来の受験、そしてそのあとの東京大学での生活へ繋げてください。

☆東京大学を目指す津高校の仲間が集まっています。将来互いに切磋琢磨しあえる仲になるように、この機会を「仲間づくり」ととらえて自主的に多くの人と話しましょう。

(先生方や先輩に聞きたいことをあらかじめ用意しておきましょう！)

参加生徒： 44名 (1年生)



行程

7月18日(火)

工学部研修

『ナノテクノロジー 最先端電子顕微鏡で観る原子の世界』

幾原雄一 先生 (大学院工学系研究科総合研究機構ナノ工学研究センター長：
結晶界面工学 本校OB)

講義① ナノテクノロジーによる太陽光エネルギーの有効利用

講義② ナノテクノロジー ～最先端顕微鏡で見る原子の世界～

見学 顕微鏡実習→原子を電子顕微鏡で見る実習

現役東大生との懇談会

本校OBの東大生との交流。先輩からエールやアドバイスをいただく。積極的に質問をしてみる。また、「なぜ東大がいいのか」などについても聞いてみよう。

本郷キャンパス散策・見学

模擬授業後の時間を活用して、安田講堂・三四郎池・学食・本屋などを自由に散策し、アカデミックな雰囲気を体験する。都会の喧噪の中にあっても、これほど静かな環境を体験できる場所も珍しい。是非、積極的に歩き回って「空気」を感じ取ってほしい。尚、残念ながら総合図書館は改修中のため見学不可。

旅館にて本校OBの東大生との座談会

7月19日（水）

農学部研修

『農学とは』

久保田耕平 先生（大学院農学生命研究科准教授 森林動物学研究室 本校OB）
講義 久保田先生の専門分野（昆虫と農学）の講義

参加報告

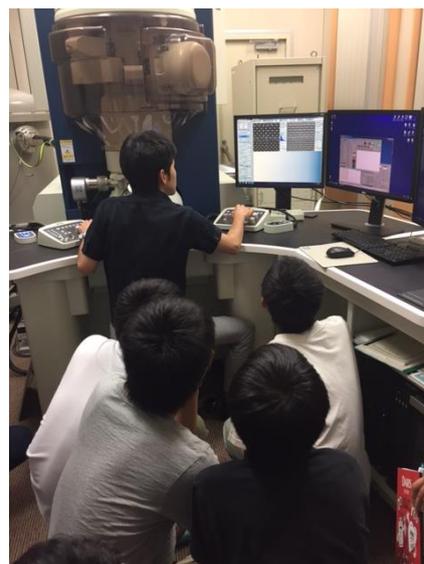
1年 加藤 大暉（橋南中）

1日目の工学コースでの電子顕微鏡実習が大変おもしろかった。実際は自分の肉眼では見えていない原子が、画面に大きく映し出されている、という事実がとても不思議な感覚だった。講義はなかなか難しい内容ではあったが、一部はなるほどと納得できるものもあり、太陽光発電の効率をもっと良くなれば地球温暖化を解決することができるということにとっても衝撃を受けた。旅館での座談会では、津高OBの東大生の方からたくさんアドバイスをいただいた。勉強などだけでなく、大学生はどんな感じなのか、東大の雰囲気はどうかなど、様々な質問に答えてもらい、とても有意義な時間を過ごすことができた。

2日目の農学コースの講義は「虫」に関するもので、今まで自分は虫にあまり興味が持てなかったが、久保田先生の講義を聞いたとき、「虫」も「人間」と同じように生きているのだと改めて実感した。

その後の本郷キャンパス内見学では、学食で赤門ラーメンを食べたり、生協の本屋に行ったりと、東大の雰囲気をしっかり感じる事ができた。

今回のこの活動で、大学生とはどんな感じなのか、東京大学はどのような大学なのかなど様々なことを知ることができ、たくさん貴重な体験をすることができた。まだ高校1年ではあるが、将来大学生になっている自分を想像してこれからも勉強、部活ともども励んでいきたい。



1年 中川智賀 (嬉野中)

座談会が一番印象に残りました。私は文系に進むつもりで、また法学部に少し興味があったので、法学部の先輩2人からお話を聞いて良かったです。法学を学んだあとは、弁護士や検察官などの法に関する仕事につくしかないのかなと思っていましたが、官僚になったり、公務員として働いたり、一般の企業に就職する道もあると初めて知り、驚きました。また文系に進むうえで、日本史と地理のどちらを選択するのがおすすめかなども教えていただけて貴重な機会でした。理系の先輩からは、主に数学の勉強の仕方やより深く暗記するコツなども教えていただきました。

たくさんのお話を現役の東大生から教えていただける、とても貴重な機会に参加できて良かったです。



1年 大西 美帆奈 (嬉野中)

今までと世界観みたいなものが 180° 変わったので、行って良かったなど心から思いました。自分の中で東大というどうしても敬遠してしまうイメージだったけれど、話を聞いてみると楽しそうでこんなところで勉強できたらおもしろいだろうなと思いました。

夜、座談会でいろいろと教えていただいて興味がすごく湧いて、勉強への意識も少し変わりました。

帰ってからは、今回学んだことを生かせるような学校生活をしていきたいと思います。参加しなかった友達にも話したいです。



1年 松本 寛樹 (橋北中)

東京はとても高いビルがあり、なにかと騒がしかったが、東大の中に入ると緑が多く、とても静かだったことに驚いた。

一番印象に残ったことは、電子顕微鏡での観察で、観察する物に少しの振動も与えないようにさまざまな工夫がされていて、とてもすごいと思った。実際に操作もさせてもらったので、とてもいい経験になった。また研究所の片隅にも、古いがとても大きな機械が何台も転がっているように置いてあったのも、今回の研修の驚きの一つだった。

今回の研修で、東大にも興味が出てきたので、東大の情報を集めながら、他の大学とも比較して、選択肢の一つとして考えていこうと思った。



ニュージーランド研修

<行程>

8月19日(土)

20日(日)

21日(月)・22日(火)

23日(水)

24日(木)

ニュージーランドへGO!

Auckland Botanical Garden (オークランド植物園)

Waitakere Regional Park (ワイタケレ地域指定公園)

Rutherford college (ラザフォードカレッジ)で

現地の生徒と交流

Auckland Museum (オークランド博物館)

Stardome Observatory (スタードーム展望台)

日本へ帰国!

～20日～

ニュージーランド初日!!

オークランド博物館で様々な動植物を見たり、



ワイタケレ地域指定公園で森の中を歩いたり…



～ 21・22日～

ラザフォードカレッジへ！
現地の生徒さんたちと交流したり、授業に参加
り、
とても楽しい2日間でした。



した



～ 23日～

最終日！
博物館でニュージーランドの自然や歴史に触れたり、スタードームではプラネタリウムを
見せていただきました。



ニュージーランドの自然環境について

綾野拓全 船津美佑 浅井香蓮 黒遼太郎 当麻菜月 藤田慧也 堀桂太
新井美也子 市川巴菜 大西美帆奈

要旨

日本とニュージーランドの共通点や相違点について学ぶために、ニュージーランドの科学系施設を訪問し、固有の植物や自然環境の現状や保全、天体についての考え方を調査した。また現地の高校を訪問し、科学的なテーマについてのディスカッションを行った。

1. 背景

4つの科学系施設を訪問した。オークランド博物館では、ニュージーランドに生息する動物や地震について、オークランド植物園では、ニュージーランド固有の植物の生態やそれらとマオリとの関連について、ワイタケレ地域指定公園では、自然の中を散策し固有種の現在の保護状況について調査した。スタードーム天文台では、ニュージーランドの人々が天体についてどのような捉え方をしているかを学んだ。また、少人数の授業に参加するなかで現地生徒の自然についての考え方に触れるため、現地校であるラザフォードカレッジの授業に参加した。

2. 内容

4つの科学系施設を訪問した。オークランド博物館では、ニュージーランドに生息する動物や地震について、オークランド植物園では、ニュージーランド固有の植物の生態やそれらとマオリとの関連について、ワイタケレ地域指定公園では、自然の中を散策し固有種の現在の保護状況について調査した。スタードーム天文台では、ニュージーランドの人々が天体についてどのような捉え方をしているかを学んだ。また、少人数の授業に参加するなかで現地生徒の自然についての考え方に触れるため、現地校であるラザフォードカレッジの授業に参加した。

3. 結論

両国には解決すべき自然環境の問題や地震が多いという共通点が挙げられるが、その取り組み方や、対策へのアプローチには異なる部分が多いといえる。

4. 結論を受けての展望

前述の通り、ニュージーランドと日本には共通した問題があるが、その取り組みの状況は異なっている。両国の自然保護や災害対策をより効果的なものにするためには、それぞれの問題への取り組み方を比較し、できるだけ多くの意見を取り入れてそれらを改良することが重要だと考えられる。そのためにも、私たちには自分から意見を発信する姿勢が求められる。

この姿勢は現地の生徒に学ぶことができる。彼らは、ディスカッションや授業の際、私たちと比べて積極的に発言していた。私たちもこのような力を発揮するために、普段のペアワークを効果的に活用し、意見を発信する力を養っていく必要があるといえる。

Research on the environment of New Zealand

Takuma Ayano, Miyu Funatsu, Karen Asai, Ryotaro Kuro, Natsuki Toma, Keiya Fujita, Keita Hori
Miyako Arai, Hana Ichikawa, Mihona Onishi

Abstract

To learn about similarities and differences, we visited scientific facilities in New Zealand. Our focus point was the current situation and conservation of the environment including native plants and astronomy. We also visited a local high school, Rutherford College, and had activities such as discussions about scientific topics.

1. Contents

We researched on animals and earthquakes in the Auckland Museum, and native plants and the relations with Maori in the Auckland Botanic Gardens. Walking through the forest called WAITAKERE, we did research on current circumstances and conservation of native plants. In Stardome, research on how people in New Zealand view the universe was conducted. Also, we joined some classes in Rutherford to learn about how students work on environmental problems.

2. Conclusion

Both countries have many things in common, such as environmental problems and frequent earthquakes. However, there seems to be a very big difference in how we tackle each problem.

3. Views from the conclusion

As mentioned above, there are common problems both in Japan and in New Zealand, but how we tackle them seems to be different. It is necessary to compare the measures and obtain various opinions to improve ways for solving problems. In order to do this, we need an attitude to express our opinions more openly. We were able to learn this type of attitude from students in New Zealand, who speak more freely. It seems necessary that we develop this attitude from regular activities like pair-work in class.

「津高キャリアプロジェクト（西村ゼミ）に参加して」

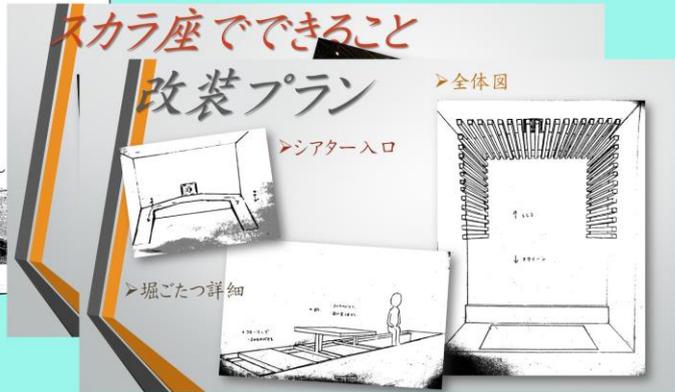
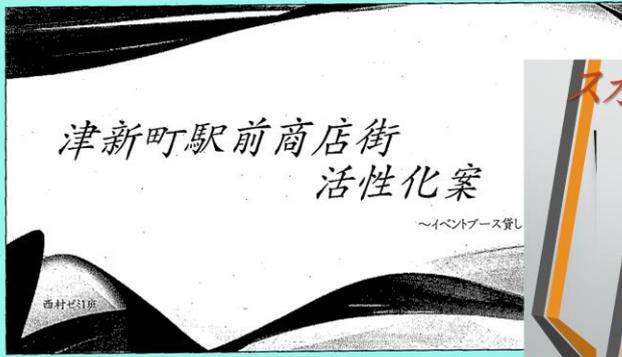
2年 森下 航平（千代崎中）

私たちは平成 29 年度津高キャリアプロジェクト（西村ゼミ）に参加し，津新町商店街の活性化案を考えました。活性化案は，平成 30 年 2 月 26 日，前葉泰幸津市長に提言しました。案の発表は 4 つのグループに分かれて行われ，私たちのグループは，蒸して作る健康的な「もちもち津ぎょうざ」を提言しました。前葉市長や，津市役所で津ぎょうざを担当されている方からは，ぜひ実現したら良いと思う，というお言葉をいただくことができました。



このゼミは，三重大学副学長の西村訓弘先生の指導のもと放課後に行われました。グループで考えたアイデアをゼミで発表し，西村先生や他の参加生徒のアドバイスをもとにさらに深く掘り下げて考えていきました。いろいろなアドバイスをいただく中で新たな発見があり，ゼミの回数を重ねるにつれより完成度の高い案へと仕上げていくことができ，とても良い経験になりました。また，実際に商店街を歩いてみることで気づく点も多く，実際に自分自身で行って見ることの大切さを改めて感じました。地元の将来や，これからの可能性について深く考えることができるとても良い機会となり，楽しく参加できました。





津新町商店街活性化プラン

もちもち津ぎょうざで津新町商店街を元気に!

三重県立津高等学校西村ゼミ2 班

塚口恵太 前田由梨 増井千尋 松浦栄衣子 森下航平

津高校で「津ぎょうざ」

毎月22日限定販売・月替お楽しみ
お手頃な1個200円程

もちもちスイー津ぎょうざ
(むつぷいも・かぼちゃ)

スイー津・ハーフ
スイー津・ミックス

オリジナル津ぎょうざ

新食感! もちもち津ぎょうざ

蒸してヘルシー

実際に永井病院の病院食に採用されたことも

スイーツにも最適

【スイー津ぎょうざ】(三重県調理専門学校)に

新町商店街活性化プラン

環境整備

三班 堀切 萌々香 平野 百香
中西 優太 別所 佑真
田中 希帆

時計台

- ・時計台は中部電力前の交差点付近に建てる
- ・津新町商店街を使う人にとって良い目印
- ・商店街に少ない時計としての役割を果たす

シャッターチャンス!!

4 班 犬塚楽々 川島美麗
的場優真 藪和史 稲垣拓

開運 インスタ映え

シャッター街

SSH 2017

今年度の津高校のSSH（スーパーサイエンス・ハイスクール）は2期目指定を受けて5年目になり、通算11年目に入りました。今年度のSSH事業内容を学年ごとに紹介します。

<1年生>

- ・教科横断的な科目…SSスポーツサイエンス、SSコミュニケーション英語Ⅰ、SS家庭探究、SS社会情報

科学技術や技術開発に対する知的好奇心や探究心、課題解決能力、コミュニケーション能力を高めるための科学的視点を取り入れた教科横断的な授業を展開しています。

- ・SS探究活動Ⅰ…リベラルアーツ、夏季フィールドワーク、試行的なテーマ研究など

リベラルアーツでは、『『高等学校で学ぶということ』について考える』、「異星人へのメッセージ」、「それ伝わってるの?」、「高まるんです!集中力!」、「プレ・テーマ研究」に取り組み、創造性・協働性・課題解決能力を育みました。

夏季フィールドワークでは、三重大学（医学部・工学部・生物資源学部・教育学部）、三重大学大学院生物資源学研究科 附属実習船 勢水丸、名古屋大学大学院理学研究科 菅島臨海実験所、三重県立博物館 MieMu、瑞浪化石博物館で実習を行いました。

試行的なテーマ研究では、1年生全員が66班に分かれ、各班でテーマを設定して課題研究に取り組みました。2月には、学年全体でポスターセッションを行いました。



<2年生>

- ・教科内容をより発展・進化させた科目…SS物理、SS科学、SS生物、SS数学、SSコミュニケーション英語Ⅱ

継続的かつ段階的な科学に対する探究心の醸成や課題解決能力の育成に向け、内容をより発展させた授業を展開しています。

- ・探究活動Ⅱ…講演会、京都大学研修

講演会では、西口昭広先生（国立研究開発法人 物質・材料研究機構（NIMS）研究員）による「工学的に臓器をつくる! ～再生医療の現状と展望～」という講演を聞きました。

京都大学研修では、理学部にお世話になり、修学院離宮周辺の堆積物調査や地質学・鉱物学教室 地震発生機構・実験宇宙化学研究室の訪問を行いました。

- ・SS研究活動…三重大学研修（医学部・工学部・生物資源学部）

2年生11名が1年間の研究活動を行い、12月の学年発表会、2月の生徒研究発表会にて発表を行いました。

医学部…「癌の克服」

工学部…「ラズベリーパイによる人・モノの認識」

生物資源学部…「気体状次亜塩素酸の濃度測定と微生物制御への応用」

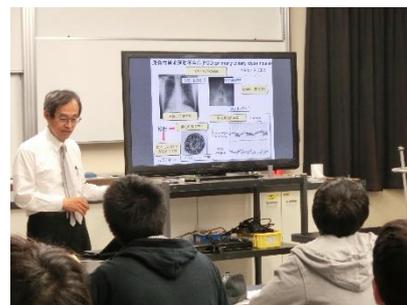


<3年生>

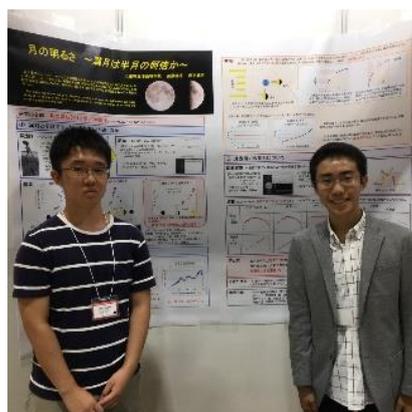
- ・教科内容をより発展・進化させた科目…SS数理、SSコミュニケーション英語Ⅲ
継続的に発展内容を含む教科を学習することで、科学を総合的に考える力を育成します。

- ・生命科学

SS研究活動の一環として、医療系進学希望者11名が、三重大学医学部の6名の教官から医学に関する各分野（耳鼻咽喉・頭頸部外科、救急科、呼吸器外科、肝胆膵外科、家庭医療学、眼科）について、視覚教材を用いてわかりやすく、かつ少人数を活かした双方向での興味深い講義を受けました。



※平成29年8月9日(水)～10(木)には、『平成29年度SSH生徒研究発表会』が神戸国際展示場で行われました。SSCの「月の明るさ～満月は半月の何倍か～」がポスター発表賞を受賞しました。



SS 探究活動 I ポスターセッション 表彰作品

生徒が選ぶベストポスター1位

「パーソナルスペース ～気になるあの子との距離は～」

パーソナルスペース～気になるあの子との距離は～

名前 森本充咲 森下菜生 多羅尾萌 平野華子

実験の目的

私たちはこの研究を被災地で苦しむ人々に少しでも役立つことができたらいいなと思っています。避難所では他人との共同生活を強いられます。快適な空間を見つけ負担を和らげたいと思い研究を始めました。また、被災地の人だけでなく日常生活で人と良いコミュニケーションの取り方もわかると思います。

実験方法

- ◎ 知り合いである同性
- ◎ 知り合いである異性
- ◎ 知り合いでない同性
- ◎ 知り合いでない異性

これらの4つの組み合わせでパーソナルスペースを測る。

実験で使用したもの

- 目盛りを書いた紙
- メジャー
- 広いスペースがある武道場
- 実験対象の二人の人

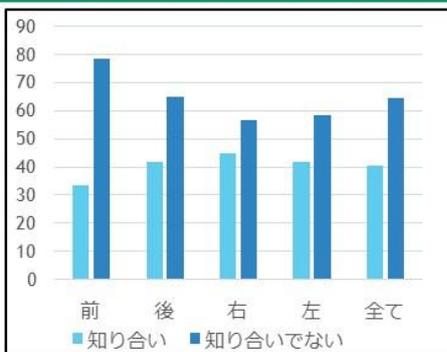


実験手順

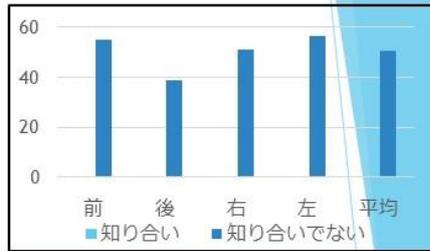
1. 上記の組み合わせで二人一組のペアを作る
2. ペアのうち一人に白い紙の中心に立ってもらう
3. もう一人が紙の上に立っているペアに近づく
4. 3の操作を正面、左右、背後からそれぞれ行う
5. 4のそれぞれの場合において気になった位置で中心に立っているほうのペアに手を挙げてもらう
6. 5での相手の位置を記録する



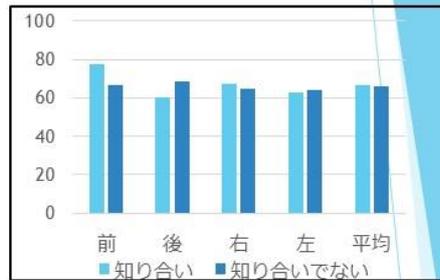
①関係の違いによる男子の距離の違い



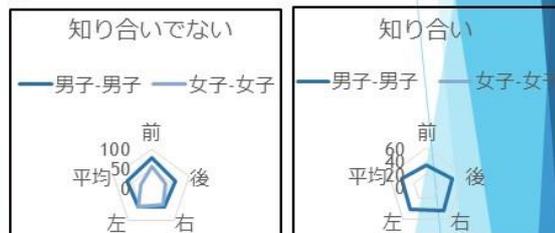
②関係の違いによる女子の距離の違い



③関係の違いによる異性の距離の違い



④同性同士における男子と女子との距離の違い



考察

実験結果から、男子同士と女子同士を比べると男子のほうがパーソナルスペースは広く、さらに知っている者同士よりも知らない者同士のほうが、パーソナルスペースは広くなる。特に女子は知っているかどうかによるパーソナルスペースの違いが大きい。しかし、異性は知っている、いないに関わらず距離が広い。知らない者同士では男子のほうが女子と比べて、パーソナルスペースが広いということがわかった。

このことから、男子から気になる子に近づいていく時は、相手は自分が思よりやや近づいてもよく、女子から気になる子に近づいていく時は、自分が思より間を取った方がよいと言える。

また全体の平均を出すと、約50センチほどパーソナルスペースがある。これは立った状態での結果であり、座った場合では条件が変わるため被災地での距離感の目安にするには弱い。しかし、エレベーターや満員電車を快適に過ごすには有効だと思われる。

最後に、男子では全体を通して右側のパーソナルスペースが広く、女子では左側のパーソナルスペースが広い。このことから男子は相手に左側にいてほしい、逆に女子は右側にいてほしいと感じられる。この通りに男女を並べると、男子が車道側に立つことが男女双方が落ち着く並び方である。

参考文献

みんなのピープルウォッチング アーロン・ウルフガング 著
安村克己 訳
淡交社

生徒が選ぶベストポスター2位

「飛翔大陸」

飛翔大陸

～紙飛行機の飛距離の限界に挑戦～

メンバー: 山本 泰誠 向井 裕哉 池内 一真 紀平 悠 稲垣 拓

【はじめに】

子供のころに紙飛行機を作って遊んでいたことを思い出し、「紙飛行機はなぜ飛ぶのだろう。」と疑問を持ち、これまでの知識を利用し、紙飛行機について調べることとした。そして私達は、一定の力で紙飛行機を飛ばすことのできる発射台を製作し、紙飛行機をより飛ばすための条件を探ることとした。

【仮説】 重心が中心より前にあり、翼の面積が大きい紙飛行機がより遠くに飛ぶ。

研究方法

- ①使用物
- 紙飛行機(コピー用紙を使用)
 - カタパルト発射台(紙パック、ゴム)
 - メジャー
 - 分度器

②紙飛行機の種類 (番号:翼の面積)

- ①:約99cm² ②:約82cm²



③:約75cm²

④:約103cm²



⑤:約88cm²



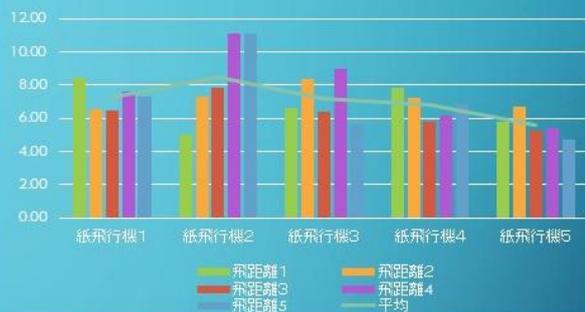
- ③計測方法
- 場所 体育館 (無風の状態を作るため)
 - 発射する際の高さ 2m12cm (12cmは角度をつけるため)
 - 発射角度 30度

上記の条件下で五種類の紙飛行機を発射台から飛ばす

- ④計測の観点
- 飛距離
 - 軌道
 - 発射台からずれた角度

結果

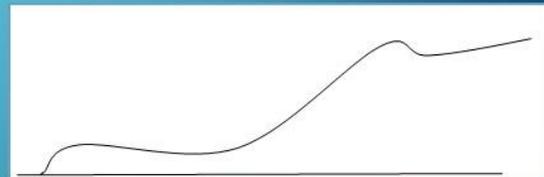
紙飛行機と飛距離



	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	平均
①	8.47	6.51	6.44	7.62	7.30	7.27
②	5.05	7.32	7.80	11.16	11.08	8.47
③	6.65	8.04	6.42	8.95	5.61	7.20
④	7.84	7.26	5.79	6.14	6.85	6.78
⑤	5.77	6.70	5.24	5.42	4.70	5.57

一番飛んだ時の軌道

※単位はすべて m



考察

結果としては、平均飛距離が一番大きく最もとんだ紙飛行機は②であった。また、最も飛ばなかった紙飛行機は、⑤であった。また、平均が7メートル以上飛んだ紙飛行機②③に共通していることは、ウィングレットという翼の端にある小さな羽があることである。飛距離と関係があると考察した。

まとめ

この実験を通じて、②は、ほかの紙飛行機と比べて翼が小さく、これは、私たちの仮説を覆すものであった。また、ほかの紙飛行機と比べて前方に紙が集中した折り方であったため、重心がほかの紙飛行機と比べて前方に寄っていたと考えられ、これは、私たちの仮説を肯定するものであった。また、一番飛んだ時の軌道は、二段階上昇しているところがあったことから、前に重心があるとあるところで空気をとらえて浮力が働いているのだと考察した。そして、最も飛ばなかった紙飛行機⑤であった。この紙飛行機は、翼が最も大きい、形が細長く空気をあまりとらえられなかったと考えた。したがって、重心が前方にあることで機体が安定し、よく飛ぶということがわかった。

参考文献

<https://oligani-blog.infor>遊び>

生徒が選ぶベストポスター2位

「甘いものは好きですか？本当は怖い砂糖の秘密」

SS探究活動
「生活科学」

甘いものは好きですか？本当は怖い砂糖の秘密

牧野有紗 岸田千夏 北村姫睦 藤原奈々 水本彩葉 宮崎愛海 中津佑理

はじめに 2017年10月15日付の産経新聞「糖質依存の生活の見直し」から糖尿病とその予備軍の増加や、ダイエットなどを目的に、炭水化物を取り過ぎる食生活を見直すことがトレンドとなっているとわかった。そこで私たちは、最も身近な糖質である砂糖についてよく知り、糖質との上手な付き合い方を考え、「調味料の隠れ糖質を科学する」ことへと発展させる。

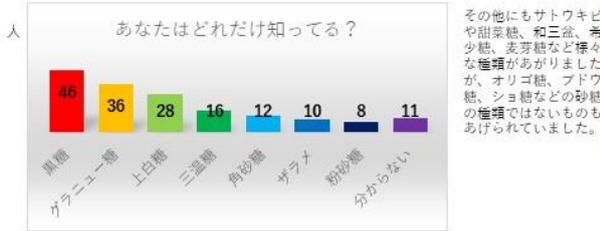
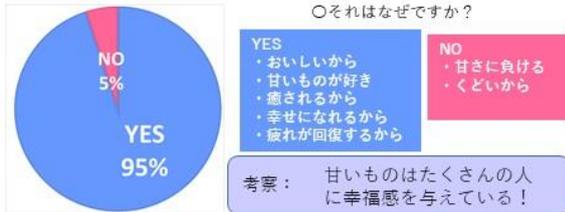
1. 研究方法

- (1) 砂糖に関する意識調査アンケート
- (2) 砂糖の調理性についての実験
- (3) 温度による味覚についての実験
- (4) 砂糖を科学する

2. 意識調査アンケート

津高等学校1学年生徒80名対象、2017年12月12日実施

(1) あなたは甘いものが好きですか？



考察：80人で砂糖の名前を知っている人は意外と少ない！

3. 砂糖の温度による変化に着目したお菓子作り

<p>〈キャラメル〉 ①砂糖90g、水あめ100g、コンデンスミルク100g、バター30gを鍋に入れ、125℃まで煮詰める。 ②油を塗ったアルミホイルに①を流し、油を塗った包丁で切る。</p>	<p>〈ビーナッツファイア〉 ①砂糖80g、水あめ16g、水20mlを鍋に入れ、130℃まで煮詰めて粗く刻んだビーナッツを加える。 ②油を塗ったアルミホイルの上に①を流し、油を付けた包丁で柔らかいうちに切る。</p>	<p>〈きなこ飴〉 ①砂糖95g、水あめ65g、水50mlを鍋に入れ、120℃まで煮詰める。 ②きな粉125gを入れてひとかたまりになるまで混ぜる。 ③棒状にし、きな粉25gをまぶし、包丁で切る。</p>	<p>〈べっご飴〉 ①砂糖大さじ4、水大さじ4を鍋に入れ、弱火で150℃まで煮詰める。 ②①を油を塗ったアルミホイルの上に垂らし、冷やす。</p>
--	--	--	---

4. 温度による甘さ(味覚)の変化

～実験方法～
①コーヒーと紅茶に同量の砂糖を入れる
②60℃、30℃、10℃の時、どの温度が一番甘く感じるかを飲み比べる

～結果～
全員が30℃が一番甘いと感じた
熱すぎるもの、冷えたものの甘さは感じにくい

実は・・・100g当たりの砂糖の量を調べてみると

微糖缶コーヒー・・・6.8g 午後の紅茶ミルクティ・・・7.8g
 コカ・コーラ・・・11.3g Qooアップル・・・12.1g

何気なく飲んでいる飲み物にはこんなに多くの砂糖が含まれている！

5. まとめ

(1) 砂糖を摂取する量に気をつけよう！

砂糖が足らないと・・・

- ・集中力がなくなる
- ・イライラする
- ・頭痛
- ・目がかすむ

砂糖を摂りすぎると・・・

- ・肌や骨の老化を加速
- ・血液がドロドロに
- ・動脈硬化や糖尿病が進行
- ・肥満につながる

出典：国立国際医療研究センター研究所「糖尿病情報センター」
中日新聞プラス

バランスが大事！！

(2) 糖質依存に気を付けよう！

糖類摂取量は1日25グラム未満！！世界保健機構（WHO）の定めた指針
特に清涼飲料水は危険！ → (3)

体に良いとされるスポーツ飲料や栄養ドリンクなどにも砂糖は多く含まれるので要注意！

“今より少し減らす”を続けていくことが大切！

(3) 「ペットボトル症候群」にならないようにしましょう！

砂糖が大量に入ったジュースやスポーツドリンクなどを継続して摂取すると・・・
→血糖値が上昇し急性の糖尿病に陥る症状を「ペットボトル症候群」とよぶ。
症状が重くなると昏睡状態になり、死に至ることもある。

☆清涼飲料水、コーヒー、ジュースには大量の砂糖！！十分に注意を！！

出典：教科書「新家庭総合」教育図書株式会社

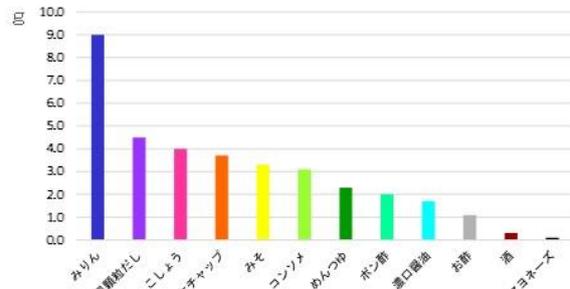
調味料の「隠れ糖質」を科学する

近年糖質ダイエットにより糖質の取り過ぎを気にしている人がたくさんいる。自分は糖質を取らないと思っても、調味料として摂っている場合もあるかもしれません。

<p>料理の例1 〈筑前煮〉 濃口醤油 大さじ2 みりん 大さじ1 上白糖 小さじ2 酒 小さじ2 和風顆粒だし 小さじ2 計25.5g</p>	<p>料理の例2 〈ポトフ〉 コンソメ 小さじ2 こしょう 小さじ2 塩 小さじ1 計4.8g</p>
--	---

(すべて2人前)

主な調味料の糖質量



出典：各製品の組成表示より

このことから和食＝健康であると思われるが、一概にはそうとは言えない。糖質を抑えようと思っているなら、料理に使用されている食材だけでなく、使用された調味料の糖質も考えるべきである。

生徒が選ぶベストポスター2位 保護者・教員が選ぶベストポスター1位 「お茶犬と学ぼう！お茶の良さ」

55周年活動「生活科学」のしあわせ
お茶犬と学ぼう！お茶の良さ
メンバー： 山本莉子 井村結 弥唯衣 米倉恵

はじめに 2017年10月30日付の毎日新聞で日本に古くからある抹茶が海外に進出し、お茶の良さが認められ人気を集めているという記事を見つけ、興味をもったため、研究の題材にした。お茶はカテキン・アミノ酸・ビタミンなど私たちの健康に良い影響を与える物質を含んでいる。特に、カテキンにはコレステロールを下げたり虫歯や口臭を予防するという効果がある。本研究を通してお茶の新たな良さを発信したい。

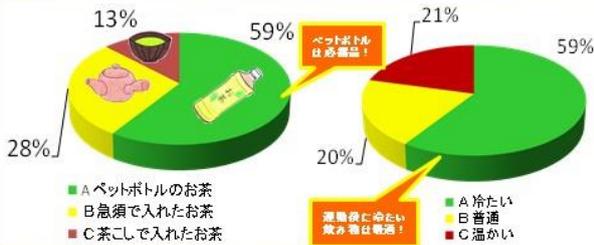
1. 研究の目的と方法

- <目的>
- (1) お茶の種類を知り、それぞれの特徴を知る
 - (2) おいしいお茶のいれ方を実験結果により確認し、適したお茶のいれ方を知る
- <方法>
- (1) お茶に関する実態調査
 - (2) お茶に関する実験実習
「温度と道具によるお茶の出方の比較」
 - (3) まとめ～お茶と健康について～
 - (4) お茶の加工品を科学する

2. 実態調査

対象：津高校1学年3クラス96名 平成29年12月実施

Q1・どのお茶をよく飲みますか？ Q2・よく飲むお茶の温度は？



3. 温度・道具によるお茶の出方の比較

私たちはお茶の種類、お湯の温度、道具を変えてみて、どのお茶が一番おいしいかというのを調べてみました!!

実験方法

- ※用いたお茶の種類・・・煎茶、ほうじ茶、玄米茶、紅茶の4種類
- ① A～Dの4つの湯飲み茶わんを用意する。
 - ② AとCには茶こしをセットし、お茶の葉を2gずつ使ってお茶をいれる。
 - ③ BとDには急須を使ってお茶をいれる(急須に入れるお茶の葉は2g)
 - ④ AとBには60℃、CとDには90℃のお湯を100mlずつ使う。

結果

実験でできたお茶を班員で試飲し、どのいれ方が一番おいしいかを話し合いでまとめたところ以下のようになった。

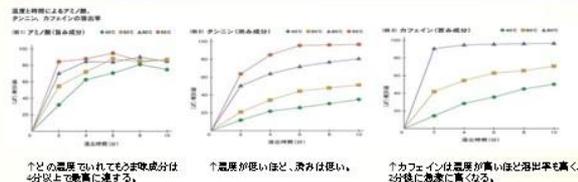
- ☆煎茶 90℃のお湯で茶こしを使っていたとき
- ☆ほうじ茶 90℃のお湯で急須を使っていたとき
- ☆玄米茶 60℃のお湯で急須を使っていたとき
- ☆紅茶 60℃のお湯で急須を使っていたとき

実験に用いたお茶の葉



考察

温度や使う道具によってお茶の濃さが変わることや、お茶の種類によって一番おいしいお茶のいれ方が違うことが分かった。



4. まとめ ～お茶と健康について～



お茶の加工品を科学する

健康に良いお茶を気軽に取り入れられるように、簡単な抹茶のお菓子を作ってみました！

抹茶のマフィン
材料(アルミカップ約10個分)

- 卵 1個
- 砂糖 70g
- 牛乳 55g
- サラダ油 30g
- バター 30g
- 薄力粉 95g
- 抹茶の粉末 15g
- ベーキングパウダー 3g

作り方

1. ボールにバターと砂糖を入れ、白くなるまですり混ぜる。(混ぜすぎれば油を少し足す)
2. 卵と油を入れ混ぜる。
3. *を合わせてふるい、2に牛乳と半量ずつ交互に入れ混ぜる。
4. 出来上がりの生地はとてなめらかです。
5. アルミカップに入れる。170℃のオーブンで25～30分焼く。
6. 出来上がり！



完成!!

クックパッド「基本のプレーンマフィン」より

出典：食科図典 小学館
農林水産省「農林水産技術会議事務局 食と農の厚」
伊藤園「お茶百科」。

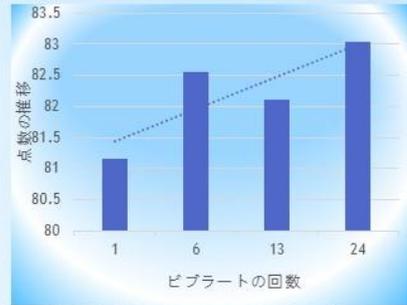
生徒が選ぶベストポスター5位

「KARAOKE ～TO GET HIGH SCORE～」

班員 小野貴理人 山本侑樹 近藤颯 田中練 千葉早翔 川島美麗 前田由梨

カラオケが苦手な友達と楽しくカラオケに行ったり、打ち上げで盛り上がり、今後の人生を楽しめるものにすべく高得点の取り方を調べることにしました。

☆カラオケが苦手な人
ピブラートやロング
トーンの配点が高く、
点数の伸びに繋がった。



17.214UP!



結果

カラオケが苦手な人 (70点前後)	点数
工夫無し	68.624点
工夫有り	85.838点
カラオケ初心者	点数
工夫無し	69.578点
工夫有り	79.923点

考察

90点以上とするには音程正確率が80%以上を超えている必要がある。90点以上の高得点を狙えば狙うほど表現力を問われる。スムーズに高音域や低音域を歌いこなせるかもポイントになる。全体的にバランスがいいほうが何か秀でていよりも高得点を取りやすい傾向にあった。バラードに限らず自分の声質や音域にあった歌を選ぶことが鍵となる。喉で歌うのではなく、腹式呼吸を用いたほうが安定性あり長時間歌うなかで楽に歌えることが分かった。

参考文献

うたうこと 発声器官の肉体的特質 歌声のひみつを解かき
フレデリック フースラン イヴォンヌ ロット・マーリング 須永 義雄 大熊 文子

・ 仮説

インターネットや図書室での調査より、点数の基盤になる音程・安定性に加え、表現力（抑揚・こぶし・しゃくり・フォール）やピブラートなどの加点を意識して、腹式呼吸で歌うと高得点が出る。個人差はあるが一般的にはバラードが高得点を取りやすい。対象者→カラオケに行っていない人、高得点を出すのが難しい人

・ 検証方法

- ①自分たちでカラオケに行き、立てた仮説の方法を試す。
 - ②効果のありそうだった方法を、対象者に試してもらう。
 - ③自由に歌ってもらって出た得点と工夫後の得点を比較し、得点が上がりがやすかった方法をまとめる。
- ※カラオケの機種によって採点方法が異なるので機種を統一して実験を行う。

・ 検証結果

☆カラオケ初心者
声量・音程・抑揚を特に意識すると点数の伸び幅が大きかった。
☆高得点を出すのが難しい人（70点前後）
音程・声量・抑揚に加えピブラート・こぶし・しゃくりなどの加点を意識すると点数の伸び幅が大きかった。

また、語尾を最後まで伸ばしきることも加点へと繋がった。
※検証結果には個人差があった。

生徒が選ぶベストポスター5位

「授業に眠る人と睡眠時間の関係」

授業に眠る人と教科・睡眠時間の関係



あなたも授業中こんな感じになっていませんか？？

中村聡志 吉田峻 前田和佳人 爪田洗月
三田村侑香 渡邊琴美 大西美帆奈

【はじめに】

「授業中に睡魔に襲われ気付いたら寝ていた。」身に覚えのあるという人は多いのではないのでしょうか。そして当たり前のように終始起きていられる人を見て、「なんであいつは起きていられるんだ？」と疑問に感じたこともあると思います。今回私たちは、授業中の眠気は睡眠時間と関わりがあるのではないかと考え、調査しました。

【予想】

- 授業中に眠る人の睡眠時間は眠っていない人と比べて短く、6時間未満
- 同じ睡眠時間でも、就寝時刻と起床時刻によって変化があらわれる
- 眠っている人が多い教科は現社・生物
- 授業の内容によって変化があらわれる

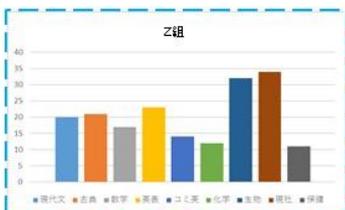
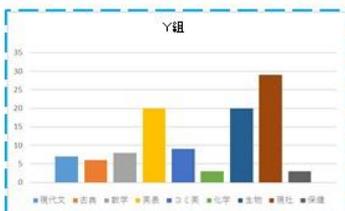
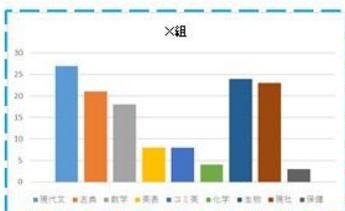
【方法】

3, 4, 5組の3クラスにアンケートを行う。(睡眠時間のみでなく、眠った教科についてのアンケートも実施)

《内容》

- Q1, 今までに授業中に眠ったことがあるか
- Q2, これまでに眠ったことのある教科 (体育・芸術・社情、家庭を除く、複数回答可)
- Q3, 昨日の睡眠時間

【結果①】 各授業で眠ったことのある人数(クラス別)



3つのグラフからわかる通り
生物・現社では眠っている人が多く、
化学・保健では眠っている人が少なかった。

< 寝ている人(3クラス合計) >

- | | | |
|----|-----|-----|
| 1位 | 現社 | 86人 |
| 2位 | 生物 | 76人 |
| 3位 | 現代文 | 54人 |
| 4位 | 英表 | 51人 |
| 5位 | 古典 | 48人 |
| 6位 | 数学 | 43人 |
| 7位 | コミ英 | 31人 |
| 8位 | 化学 | 19人 |
| 9位 | 保健 | 17人 |

【結果②】 就寝時刻と起床時刻の平均

就寝時刻: 24時 起床時刻: 6時12分

【結果③】 授業中に寝ている人・寝ていない人の睡眠時間の平均

寝ている人: 5.8時間 寝ていない人: 6.9時間

授業中に寝ている人、寝ていない人を分けてそれぞれの睡眠時間を平均して出したところ、予想通り寝ている人の睡眠時間は6時間未満だった。
寝ていない人は、最低でも6時間睡眠をとっていることが分かった。

(睡眠時間のグラフ分析)

【考察】

眠っていない教科の特徴として、授業中にノートを多くとったり、発表が多いことが挙げられた。寝ている教科でも生物と現社は比較的ノートを多くとるが、アンケート対象のクラスでは、生物と現社の授業中の発表はない。
あくまで研究メンバーの感想だが、寝ている教科を担当している先生の声が心地いいことが多い。先生の声の周波数が、私たちにあって心地いいものなのかもしれないことが考えられた。人の声の周波数とねむくなりやすさが関係あるのかを調べていきたいと思う。

また、授業中に眠らない人は睡眠時間を十分に確保できていることもわかった。
多少の個人差はあれ、授業中の眠気に勝つためには7時間程度の睡眠が必要だと思う。
今回のアンケートでは調査しなかったが、夜にスマホやパソコンなどの強い光を浴びているかなどの生活習慣が睡眠の質の良さを左右するという話もある。睡眠の質と授業中の眠気の関連性についても、今後詳しく調査したい。

保護者・教員が選ぶベストポスター2位 「明るい月は何等星？」

明るい月は何等星？

近藤瑞佑 上田陽子

はじめに

昨年の先輩が行った研究で、満月は半月の12.5倍明るいことがわかった。星の明るさは等級で表される。1等星は明るい。ではそれよりずっと明るい月は何等星なんだろう。天文年鑑によると、月の等級は約-5~-13等である。
私たちは毎日満ち欠けしている月の等級を、測定することにしました。

準備物

- ・カメラ Nikon D7200
- ・レンズ NIKKOR 50mm F1.8
- ・三脚
- ・レリーズ



月の写真を撮る

絞り F4.0、感度 ISO 400
シャッター速度は1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/2(秒)で撮影。

ファイル変換

ファイル変換ソフト「raw2fits」を使い、raw画像をファイル形式fitsへ変換する。
このとき画像はred, green, blueの3つに分けられる。
測光にはgreen画像を使用。



月の測光

測光には「すばる画像処理ソフト マカリ」を使用。
明るさはcount値として出力される。



星の測光

シャッター速度1/2の写真を使用。
月の周りの3個の星を測光。
プラネタリウムソフト「ステラナビゲーター」を用いて、測光した星のVT値を調べる。



等級が5異なると明るさは100倍
等級が1異なると明るさは100^{1/5}
等級がm異なると明るさは100^{m/5}

ポグソンの公式

星1の等級を m_1 、明るさを I_1 、星2の等級を m_2 、明るさを I_2 とする。

$$I_1/I_2 = 100^{(m_2 - m_1)/5}$$

$$\log_{10}(I_1/I_2) = \log_{10} 100^{(m_2 - m_1)/5}$$

$$= 2/5(m_2 - m_1)$$

$$\therefore m_1 - m_2 = -2.5 \log_{10}(I_1/I_2) \quad \dots \text{ポグソンの公式}$$

0等星の明るさ

ある星の等級を m 、明るさを I (count値)としたとき、0等星の星の明るさ I_0 を求める。

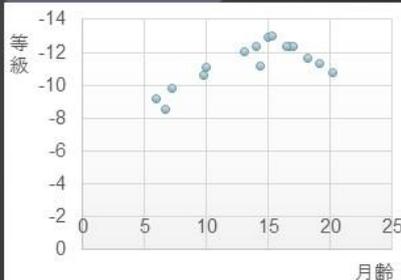
$$I_0 = I \times 100^{m/5} \quad \dots \text{0等星の明るさ}$$

月の等級

0等級の星1の明るさを I_0 、月の明るさを I_m としたときの月の等級 M を求める。

$$M - 0 = -2.5 \log_{10}(I_m/I_0) \quad \dots \text{月の等級}$$

結果



・月齢が15(満月)までは、月齢とともに、等級が小さくなり、月齢が15を過ぎると、等級が大きくなっている。
・一年で一番明るい満月である「スーパームーン」の等級は-12.9であった。

考察

グラフのばらつきが出た理由として、月の等級を測定する際に基準となる3つの星が離れたところにあったことや、月の光の影響を受けていたことが考えられる。

今後の展望

今回、満月を2回測定したが、その二つがスーパームーンだった。スーパームーンではない普通の満月の測定もしたい。
データを増やしてより精密な数値を求める。
1月31日に皆既月食がある。その明るさの移り変わりも調べようと思う。

参考文献

・「天文年鑑 2017」 誠文堂新光社 ・「あなたもできるデジカメ天文学」 恒星社厚生閣

2. 部活動紹介編



全国大会・東海大会等へ参加した部活動を先に紹介しています。

ボート部 *since 1887*

*なお詳しい活動内容は三重県ボート協会ホームページ
をご覧ください。 <http://miera.jp/>

活動内容 29年度例

- 4月 体験入部・試漕会
- 5月 琵琶湖遠征(GW)
県総体兼インターハイ予選
- 6月 東海総体
全日本 Jr 選手権(熊本県)
- 7月 国体東海予選
- 8月 インターハイ(5泊6日宮城県)
夏季合宿(2泊3日大台町)
- 9月 県新人大会 国体(愛媛県)
- 10月 東海選抜大会 (愛知県)
- 1月 ウィンターカップ(大阪府)
全国マシンローイング近畿大会
(滋賀県)
- 3月 全国高校選抜大会(静岡県)
春季合宿 (2泊3日名古屋市)

練習時間

- 月～金 16:20～18:30
- 土 8:30～15:30(冬季はAMのみ)
- 日 休み 試合前は自主練習
朝練 なし

H29年度 主な戦績

- ・全国高校選抜大会
男子ダブルスカル **6位入賞**
- ・三重県高校総体
男子 総合 **10年連続優勝**
女子 総合 **3年連続優勝**
- ・三重県高校新人大会
男子 2種目 **優勝**
女子 1種目 **優勝**
- ・東海総体
女子シングルスカル **3位**
国体東海ブロック大会
女子シングルスカル **優勝**
男子ダブルスカル **優勝**
- ・全国総体
男子クオドルプル, 女子クオドル
プル, 男子ダブルスカル, 女子シ
ングルスカル **準々決勝進出**
- ・東海高校選抜大会
女子シングルスカル **優勝**
- ・全国マシンローイング大会
女子ランキング**1位**



「ボート部に入部して」 1年 梅本 杏月(橋北中)

私は、高校に入学するまでボートに興味はありませんでした。見学に行った時、ボート部の雰囲気がよく、ボートがおもしろそうと感じ入部することを決めました。はじめはボート競技について、何もわからずすごく不安もありましたが、暖かくて個性的な先輩がいつも支えてくれ、たくさんの知識を得ることができました。

ボート部には、他のクラブにない魅力がたくさんあります。オールで水をつかんで艇を進める、その時の爽快感は本当に感動的です。舵手、漕手、マネージャーとそれぞれ誇れる役割があります。ぜひ私たちと一緒にボートを楽しみましょう！！マネージャーも募集しています。



弓道部

◇平成29年度三重県高校総体大会
兼東海総体・全国総体県予選大会（5月27日）

○ 女子団体 7位

◇平成29年度三重県高校総体大会兼東海総体
・全国総体県予選決勝（5月28日）

○ 女子団体 8位



◇平成29年度三重県高校弓道新人大会兼選抜予選大会（11月4日）

○ 女子団体 2位

○ 女子個人 3位 松本 雅（久居東中）

◇平成29年度東海・全国高校弓道選抜大会三重県予選大会決勝（11月5日）

○ 女子団体 5位

○ 女子個人 優勝 野田 咲紀子（一身田中） 東海・全国大会に出場

2位 松本 雅（久居東中）

東海・全国大会に出場

○ 男子個人 5位 東 源大（大山田中）

東海大会に出場



◇第36回東海高等学校弓道選抜大会

（11月17・18・19日）出場

○ 女子個人 野田 咲紀子（一身田中）

松本 雅（久居東中）

○ 男子個人 東 源大（大山田中）

◇第36回全国高等学校弓道選抜大会

（12月23・24・25日）出場

○ 女子個人 野田 咲紀子（一身田中） 準決勝進出

松本 雅（久居東中）



◇平成29年度会長杯弓道大会（2月11日）

- 女子個人 優勝 野田 咲紀子（一身田中）
7位 田中 朱理（崇広中）

「全国選抜大会・東海選抜大会に出場して」

2年 野田 咲紀子（一身田中）

東海大会・全国大会は、今までの試合より空気が張り詰めているように感じましたが、普段の練習ではあまり体験できない雰囲気がとても新鮮であり、楽しむことができました。しかし、試合の大事な場面で自分の力を出し切ることができませんでした。そのため今現在は自分の力を大事な場面でも落ち着いて出せることを目標に練習しています。弓道部で過ごすことで、たくさんの思い出をつくることができ、この部に入ってとても良かったと思います。今後は、大きな大会に出場できたことに満足せず、さらに自分を向上していけるように頑張っていこうと思います。

「全国選抜大会・東海選抜大会に出場して」

2年 松本 雅（久居東中）

私たち弓道部は現在約45人もの部員で活動しているので、放課後の部活動では、的に向かって引ける数は限られます。しかし、限られた本数だけしか引けないからこそ、1本も無駄にはできないという緊張感をもって練習に挑むことができます。そのような練習の積み重ねで、試合本番でも場の空気のにまれずに自分のペースで落ち着いて引くことができ、東海・全国高校弓道選抜大会三重県予選大会では、個人準優勝という結果を残すことができました。また、この結果により東海・全国高校弓道選抜大会出場という、貴重な体験をすることができました。私はこのような大きな大会に出場するのは初めてで、まさか自分が全国大会に出場するとは思っていませんでした。だから全国大会出場をゴールとして捉えてしまいがちだったけど、次は通過点として捉え、もっと上を目指していけるようにたくさんの部員たちと支え合って、個人としてもチームとしても強くなっていきたいです。

「東海選抜大会に出場して」

2年 東 源大（大山田中）

私は昨年11月に行われた東海高校弓道選抜大会に出場しました。結果は、予選では4本の中させたものの、敗退という悔しい結果になってしまいましたが、レベルの高い中での公式練習や普段とは違う緊張感で行った試合はとても良い経験になったと思います。

この経験を生かして、今後の大会ではさらに上位の結果を目指して精進していきたいと思います。先生方、保護者・家族や関わってくれている方々に感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思っています。



書道部

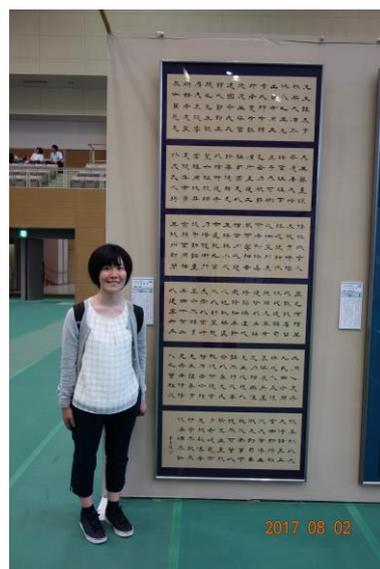
◇新入生歓迎パフォーマンス(4月)



◇実技講習会(6月10日(土)三重県教育文化会館)

◇第41回全国高等学校総合文化祭宮城大会 (8月2日~8月3日) 仙台市青葉体育館・仙台国際センター

3年 坂崎亜実 楊峴臨書作品出品



◇書道パフォーマンス 津新町夏祭り(8月5日)



文化祭



- ◇第38回みえ高文祭書道部門(10月27日~29日) 三重県文化会館第1ギャラリー
特選 2年 山脇麟神(臨 粘葉本和漢朗詠集)
山脇麟神は第42回全国高等学校総合文化祭長野大会
(平成30年8月松本市)への出品権を獲得



- ◇第18回高校生国際美術展
佳作 2年 田中相真 (臨) 欧陽詢 行書千字文
2年 増井里歩 (臨) 関戸本古今集
- ◇第22回全日本高校・大学生書道展
準優秀賞 2年 増井里歩 (臨) 関戸本古今集
- ◇第15回岐阜女子大学全国書道展
三重県教育委員会教育長賞 2年 田中相真 (臨) 欧陽詢 行書千字文
- ◇第22回三重県高等学校文化連盟書道部門夏季錬成合宿
(8月13日~15日 in 鈴鹿青少年センター)

◇第26回国際高校生選抜書展（書の甲子園）

団体の部 東海地区 優勝

*** 第90回選抜高等学校野球大会出場校名プラカード文字揮毫**

個人の部 秀作賞 山脇 麟神（2年）
秀作賞 田中 相真（2年）
入選 夏目 小麦（2年）
松井 志乃（2年）
石渡 友紀乃（2年）
増井 里歩（2年）
上田 美沙紀（2年）
樋口 凜（1年）
竹内 凜（1年）
平井 咲良（1年）
秋山 あみり（1年）
大宅 美鈴（1年）
江藤 千裕（1年）

◇第22回全日本高等学校書道コンクール（1月7日）

全日本高等学校書道教育研究会賞 2年 山脇麟神

◇ 第回津市民美術展覧会

津北ロータリークラブ賞 2年 山脇麟神
秀作賞 1年 大宅美鈴

◇ リージョンプラザでのパフォーマンス



◇第45回書道部門生徒教員展（12月22日～24日）三重県立美術館 県民ギャラリー）

出品者 白井愛梨佳（1年） 臨 真草千字文
樋口 凜（1年） 臨 香紙切
下村珠里奈（1年） 臨 曹全碑
竹内 凜（1年） 臨 吳昌碩石鼓文
山本大雅・大宅美鈴・平井咲良・秋山あみり・江藤千裕（1年）
臨 蘭亭序

*** 樋口 凜は第38回近畿高等学校総合文化祭大会徳島大会（平成30年11月）への出品権を獲得**

第41回全国高等学校総合文化祭宮城大会に参加して

3年 坂崎亜実（千代崎中）

私は、書道部門の三重県代表の1人として、全国総文祭に参加させていただきました。大会に出品されていた作品は、どれも目を見張るものばかりで、1つ1つの作品から気迫を感じました。私と同じ古典の作品もたくさん出品されていて、線の力強さや作品全体から出る堂々とした雰囲気圧倒されました。

交流会では、東日本大震災からの復興への「祈り、願い」をテーマに、グループに分かれて作品制作に取り組みました。交流会の前半では、硯板に「祈り、願い」にちなんだ言葉を書き、グループ内で交換しました。後半では、短冊に自分の願いや思いを書き、グループで1本の吹き流しにして、仙台市の七夕祭りで有名な七夕飾りに貼り付けました。同じグループの皆さんと上手く話せるか不安でしたが、みんな明るくて親しみやすい人ばかりで、色々なことを話すことが出来ました。1人1人の願いを書いた短冊が、一本の吹き流しに繋がり、七夕飾りになったときはとても達成感があり、全国の書道部の皆さんと親交が深まったような気がしました。

今回、全国総文祭に参加できたことで、大会に本当に多くの人々が関わり、たくさんの人々の苦労や努力の上で大会が成り立っていることを痛感しました。特に、私と同年代の宮城県の高校生の皆さんが、一生懸命働き、笑顔で接している姿を見て、私は感動し、同時に励まされたような気がしました。このような貴重な体験ができたことに感謝し、これからは自分自身が誰かを励ますことができたいと思います。

第37回みえ高文祭「特選」を受賞して

2年 山脇 麟神（橋南中）

この度のみえ高文祭において、特選を受賞し、全国高文祭への出品権を獲得することは、目標の一つでした。なので、今回の受賞には、非常に安堵しています。みえ高文祭の作品に取り掛かったのは夏休み明けでした。夏の合宿では、自分の力の無さを痛感し、迷走気味でした。しかし、なんとかそれを乗り越え、みえ高文祭の作品制作には清々しい気持ちで挑み、楽しんで書くことが出来たように思います。しかし、やはり作品を仕上げ、審査結果が知られるまでは、他のことに手が付けられない程不安でした。そのため特選の知らせを聞いたときの安堵や解放感は非常に大きかったです。

第37回近畿高等学校総合文化祭大阪大会に参加して

「書道の理解を深める」

2年 上田美沙紀（嬉野中）

私は昨年の生徒教員展で、三重県の代表5点に選ばれ、近文祭大阪大会に出品しました。会場では他県の高校生の作品を見ることができ、大変勉強になりました。作品を鑑賞後、学芸員の方に講演を行っていただき、古典の鑑賞について専門的な立場からの見解を聞かせていただきました。これから書道作品を見る際の鑑賞の仕方に大きく影響を与えて頂いたように思います。その後美術館の常設展示の鑑賞をしました。前述の講演で紹介された古典を鑑賞でき、普段から教科書で見ている古典を見ることができてとても嬉しく思いました。と同時に自身の力のなさを再確認する機会になりました。また書作品だけではなく仏教美術や古代中国の美術作品も展示されており、中でも雄大な自然を単色で描いた風景画は奥行が感じられ、植物の色や水の色まで見えてくるようでした。様々な中国の書作品が生まれた時代の美術作品も同時に見るということは中々出来ない経験でとても興味深かったです。午後に行われた交流会では用意していた草稿をもとに砂文字作品を制作しました。それぞれの県を象徴する文字を各々の字体で仕上げましたが、砂文字だと字体や構成以外にも色をつける工程があるので更に個性がでて大変楽しく制作しました。私は伊勢を象徴する「おかげ参り」と書いた作品を制作しました。カッターを用いて

文字をくり抜いたり、くり抜いた所に砂を接着したりできて新鮮で楽しかったです。このような体験ができたのも顧問の先生のご指導や部員の支えがあってこそだと思います。この環境に感謝しつつ、今の技量に満足することなく更に切磋琢磨していきたいと思います。

「書を見る目」

2年 山脇 麟神（橋南中）

今回の近文祭では、講義、美術館の常設展示の鑑賞、交流会に参加しました。

講義では「美術館で見る書」をテーマに書画の鑑賞の仕方について、様々な視点からのお話をお聞きし、書画を鑑賞するにあたり、背景知識があるとより鑑賞を楽しめるということを学びました。

常設展示では、空海像や曼荼羅、金剛杵などの仏教美術や書画の名品を見ることができましたが、中でも、私が好きな北宋の書家・米フツの尺牘、詩稿の実物には、思わず息を呑み、余りの凄さに圧倒され、書の道を諦めようかと思いました。この他にも多くの書画の名品を見ましたが、本物は普段見ている印刷とは雲泥の差で、書者の息遣い、墨色、紙の質感までひしひしと伝わり、凄いの一言に尽きます。やはり、幾つもフィルターを通した写真では、あの凄さは分からないのだと実感させられました。

昼食を挟みあべのハルカスで交流会が行われました。交流会では、色砂を用いた作品作りを行いました。事前に各々の府県を象徴する言葉を葉書大に墨書し、その草稿をもとに色の着いた砂を用いて作品を制作するというものです。私は「美し国」を選びましたが、実際にやってみると、墨書したときに生じる掠れや筆の柔らかさなどが表現出来ず、非常に苦労しましたが、初めての経験だったので楽しむことができました。

今回、自分の非力さを再び痛感し、これからは更に多くの事を学びたいと思いました。書道は一人では出来ないものです。様々な助言を下さる先生方や部員には、本当に感謝しています。

「書の甲子園」表彰式にて

2年 田中 相真（桔梗が丘中）

私にとって、今回の書の甲子園の授賞式が初めての大きな授賞式でした。日本の高校生最上位層が一度に集まる会場に自分がいられるというのは光栄で、また、文部科学大臣賞を受賞された二人の席上揮毫はどちらも素晴らしかったです。仮名も非常に綺麗でしたが、私は特に豪快な木簡の揮毫に非常に魅了されました。普段では決して見ることのできないものが見られて良い経験となりました。

さらに、この授賞式で最も印象に残ったのは団体の部優勝校である大分県立大分南高校のパフォーマンスです。

部員内の連携により、全体として完成度が高くなっている作品を見て鳥肌が立ちました。

2月4日、この日は多くの書道に励む人たちの存在を改めて実感し、多くを学び、感動した一日となりました。

これからも精進してまいります

新聞・写真部

◇第41回全国高校総合文化祭宮城大会…参加

◇第36回高校新聞コンクール（三重県）…最優秀賞受賞 2017年11月19日

◇三重県高文連新聞部門 紙面技術講習会…参加〔於：津高（6月）、四日市公害と環境未来館（2月）〕

◇三重県高文連新聞部門 夏期講習会…参加〔於：伊勢（8月）〕

全国高文祭参加報告

「新聞作りの魅力」 2学年 鈴木航太（大木中学校出身）

私は班別取材でベガルタ仙台のホームスタジアムを訪れました。そこで、ベガルタ仙台の担当の方に、ベガルタ仙台が震災後に行った取り組みの話を聴きました。「サッカーを通じて被災地の力になりたい」という言葉がとても心に残っています。さらに、スタジアムを担当している方の話も聴くことが出来ました。スタジアムを綺麗な状態で保つためにどれだけの苦勞がかけられているかを知り、怠らないことの大切さを知りました。また、スタジアムの芝生に触れることも出来て感動しました。

新聞制作にあたり私はレイアウトを担当しましたが、記事の本数が少なかったためレイアウトを考えるのがとても難しかったです。しかし「一番下の段に写真を置いたら、いわゆる『尻餅』になるのではないかなどと班の皆が意見を出してくれました。そのため、問題点を解決してより良い新聞を作ることが出来ました。私の班は自分以外の生徒が全員女子であったため、班に馴染めるかどうか不安でしたが、新聞が完成した時は皆で喜び、最終的には班の皆とも仲良くなることが出来ました。

私は今回の全国高等学校総合文化祭に参加して、地域による文化や考え方の違いを体感しました。北海道から来ている生徒が「北海道では8月になると蟬をあまり見なくなる」と話しているのを聞いて驚きました。一方、どの地域でも新聞の作り方は変わりません。住んでいる地域や話す言葉が違っても、協力して一つの新聞を作ることが出来るのは新聞作りのとても魅力的な部分だと思いました。私はこれからも新聞作りに尽力して、新聞作りの楽しさを伝えたいと思います。

全国高文祭参加報告

「人の強さ」 2学年 矢原渚彩（霊峰中学校出身）

今回参加した全国総合文化祭での私の取材先で最も印象に残っているのは、東日本大震災から復興を遂げた石巻魚市場だ。ここは震災による津波で、当時東洋一ともいわれていた654メートルもある水揚棟が崩壊してしまった。しかし館長の須能さんは数日後に魚市場を再開し、復興に尽力してきたという。私はこの話を聞いて「人とは、なんて強いものなんだろう」と思った。打ち勝つすべがない自然災害が起こる度に、人は何度も己の無力さを思い知らされる。それなのに、人はまだ抗おうとする。その時の人の「心の強さ」はとても強い。「言うは易く行は難し」という言葉の通り、思ったことを実際に行うのは大変で、何より勇気がいる。「失敗してしまったらどうしよう」と考え出したらキリがないことを気にやんでいる人は、風の前の塵に同じく、弱く儂い。ただ、一度「やるぞ!」と決めた人の力は本当に強い。それを今回の総文祭で身にしみて感じる事が出来た。

私は昨年、県のボランティアとして宮城県を訪れた。当時行ったところはまだ魚市場ほど復興していないところだった。そのため「人の強さ」をよりいっそう感じたのかもしれない。

建物に限ったことではないが、一度壊れてしまったものを組み立て直すのは、壊す時よりの倍以上の力を要する。一人の力は微々たるものでも、何十人、何百人、何千人と集まれば、やがて膨大な力になりうる。私は今回のメンバーで、班で、このことに気がつけた。本当に良い時間を過ごした。また機会があれば、参加したい。



▲ 新聞部門の会場の前で



▲ベガルタ仙台を取材する鈴木航太

2017年12月13日 津高新聞 第300号

英語入試が2人2位

「英語入試が2人2位」という見出しの下に、津高新聞の記者がインタビューした学生たちの写真と記事が掲載されている。記事には、入試の難易度や学習の苦労話などが詳しく記されている。

短歌三重県知事賞

「短歌三重県知事賞」の受賞者に関する記事。受賞者の名前や作品の一部が紹介されている。

尾鷲部年節の準備

「尾鷲部年節の準備」に関する記事。地域の伝統行事や準備の様子について詳しく説明されている。

分かりやすい行事案内

「分かりやすい行事案内」に関する記事。学校の行事スケジュールや参加方法がわかりやすくまとめられている。

その他、漫画やイラストが挿入された記事も複数掲載されている。

2017年12月13日 津高新聞 第300号

道を究めろ 津高生

津高新聞

「道を究めろ 津高生」という特集記事の表紙。様々な学生活動や部活動の取り組みが紹介されている。記事には写真とインタビューが豊富に掲載されている。

右側には「津高新聞」の発行情報や読者サービスに関する情報が掲載されている。

津高新聞第300号 2017年12月13日発行

クイズ研究同好会

◇ライオンズスペシャル第37回全国高等学校クイズ選手権中部地区大会（7月25日）
○ 三重県 優勝

◇ライオンズスペシャル第37回全国高等学校クイズ選手権全国大会出場（8月5日）

クイズ研究同好会は、夏の高校生クイズを目標に日々活動しています。今年度も昨年に引き続き、三重県代表として本選出場を果たすことができました！今後の目標は本選の上位入賞です。文化祭では早押しクイズ大会を開催し、また12月には他校との交流クイズ大会を開催するなど、活発に活動しています。日頃は、みんなでわいわいとクイズを出し合い、クイズの腕を磨いています。部員は先輩後輩問わず仲が良く、気軽に勉強や進路の相談をすることもできます。また、クイズの中には学校で習う内容が含まれているものがあり、少しは勉強の役にも立ちます。クイ研は他の部との兼部も大丈夫です。クイズに興味がある人、高校に入って新しいことをしたい人は、ぜひクイ研へ！



水泳部



(5月岐阜卓合宿)



1 2月県内合同練習 (平常練習 / 準備体操)



◇平成29年度三重県高等学校総合体育大会水泳競技競泳 (6月24・25日)

○ 男子総合 5位 女子総合 4位

<各種目成績>

==男子成績==

伊藤優貴 (3年) 200m 個人メドレー (1位) 400m 個人メドレー (3位)

飯田奨之 (2年) 200m 背泳ぎ (6位)

織田大世 (1年) 200m 自由形 (6位)

4x100m フリーレー (6位 / 伊藤・横山・飯田・織田)

4x100m メドレーレー (5位 / 横山・伊藤・竹内・織田)

4x200m フリーレー (5位 / 飯田・横山・織田・伊藤)

==女子成績==

山口夏穂 (3年) 50m 自由形 (5位) 200m 背泳ぎ (7位)

山下幸恵 (3年) 200m 自由形 (7位) 400m 自由形 (4位)

河野友香 (1年) 200m 自由形 (5位) 400m 自由形 (3位)

齋藤美月 (1年) 100m 背泳ぎ (5位) 200m 背泳ぎ (8位)

三輪帆香 (1年) 200m 平泳ぎ (8位) 200m 個人メドレー (8位)

4x100m フリーレー (4位 / 河野・山下・山口・齋藤)

4x100m メドレーレー (6位 / 齋藤・三輪・山下・山口)



(4月プール掃除)

◇平成29年度三重県高等学校新人水泳競技大会 (9月23日)

○ 男子総合 3位 女子総合 6位

==男子成績==

飯田奨之 (2年) 100m 背泳ぎ (7位) 200m 背泳ぎ (2位)

織田大世 (1年) 50m 自由形 (3位) 100m 自由形 (3位)

横山稀帆 (1年) 100m 背泳ぎ (4位)

4x50m フリーレー (4位 / 飯田・織田・市場・横山)

4x50m メドレーレー (4位 / 飯田・横山・織田・市場)

==女子成績==

齋藤美月 (1年) 50m 自由形 (3位) 100m 背泳ぎ (5位)

河野友香 (1年) 200m 自由形 (5位) 400m 自由形 (3位)

4x50m フリーレー (6位 / 河野・齋藤・藤本・前田)

4x50m メドレーレー (7位 / 齋藤・藤本・河野・西村)



(5月合同練習)

1年 西村 真由子 (桔梗が丘中学)

「この1年を振り返って」

私は、津高校に入学して、どのクラブに入部しようかと迷っていました。

いくつものクラブの体験入部に参加したなかで、一番楽しかったのが水泳部だったので入部を決めました。小さな頃から小学6年生までスイミングスクールに通っていたのでその感覚で入部したのですが、練習内容は私がそれまで体験したことのないハードなものでした。「しんどい」と思うときもたくさんありましたが、それ以上に先輩や同級生のみんと練習をすることが楽しくて毎日頑張ることができました。その上、練習をやりとげたあとの達成感がとても好きでした。

他の高校チームとの合同練習では、大きな声で返事をすることや盛り上げる雰囲気作りなどたくさん吸収でき自分たちのチームにフィードバックができています。

大変なことも多いけれど、私は水泳部のみんなが仲良しな雰囲気が大好きです。

0.01秒でも速く泳げるように、これからも日々の練習を頑張っていきたいです。

1年 福田 優二郎 (久保中)

「水泳部がある津高校へ行きたい」と津高校を目指しました。4月入学し、水泳部に入りました。すぐに練習の大変さを知りました。「これからやっていけるのか」不安になったことをよく覚えていています。1日10kmを泳いだり、毎日の練習が精一杯で勉強に手がつけられない日もありました。

しかし、大変な練習であればあるほど達成感は大きくチームワークがとても強くなっていくのを実感しました。

上級生の方々の応援の声や支え、同級生の存在により私はこの1年で大きく成長することができました。チームワークの大切さも知りました。きっと、1人で取り組んでいたら挫折していたに違いないと思います。今は、仲間への感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も、厳しい練習の日もあります。しかし仲間とともに、私が勇気づける側となって練習を乗り越え、さらに大きく成長したいと強く思います。



(4月初泳ぎ/水球)

バドミントン部（男・女）

平成 29 年度の結果

- 三重県高校バドミントン選手権大会（全国総体県予選）
 - 男子団体第 5 位（参加 43 校）
 - 女子団体ベスト 16（参加 43 校）
 - 男子 1 部複ベスト 8（正木唯斗・小寺星瑠）
 - 男子 1 部単ベスト 8（正木唯斗）
- 三重県高校バドミントン新人大会
 - 男子 1 部単第 3 位（正木唯斗）
 - 男子 1 部複ベスト 8（正木唯斗・小寺星瑠） **中部日本大会出場**
 - 女子 1 部複ベスト 8（長谷川里緒・下村優衣）
- 三重県高校バドミントン秋季大会（全国選抜大会県予選）
 - 男子団体第 3 位（参加 41 校）
 - 女子団体ベスト 16（参加 42 校）
 - 男子 1 部単ベスト 8（正木唯斗・小寺星瑠）

過去の主な結果

平成 23 年度

- 三重県高校バドミントン選手権大会（全国総体県予選）
 - 女子団体第 2 位 **東海総体出場**
- 三重県高校バドミントン新人大会
 - 男子 1 部単準優勝・男子 1 部複優勝
- 三重県高校バドミントン秋季大会（全国選抜大会県予選）
 - 男子団体第 3 位 **東海選抜大会出場**
 - 女子団体第 3 位 **東海選抜大会出場**
 - 男子 1 部単準優勝 **東海選抜大会出場**・男子 1 部複準優勝 **東海選抜大会出場**

平成 24 年度

- 三重県高校バドミントン選手権大会（全国総体県予選）
 - 男子団体第 3 位
 - 女子団体第 3 位 **東海総体出場**
 - 男子 1 部単準優勝 **全国総体出場**・男子 1 部複第 3 位
 - 女子 1 部複第 3 位

平成 25 年度

- 三重県高校バドミントン秋季大会（全国選抜大会県予選）
 - 男子団体第 3 位

平成 26 年度

- 三重県高校バドミントン選手権大会（全国総体県予選）
 - 男子団体第 3 位
- 三重県高校バドミントン秋季大会（全国選抜大会県予選）
 - 男子団体第 3 位

平成 27 年度の結果

三重県高校バドミントン新人大会

女子団体第 5 位（参加 61 チーム）

三重県高校バドミントン秋季大会（全国選抜大会県予選）

女子団体第 5 位（参加 39 校）

平成 28 年度の結果

三重県高校バドミントン選手権大会（全国総体県予選）

男子団体第 5 位（参加 42 校）

三重県高校バドミントン新人大会

男子団体第 3 位（参加 68 チーム）

三重県高校バドミントン秋季大会（全国選抜大会県予選）

男子団体第 3 位（参加 42 校）**東海選抜大会出場**

男子 1 部ダブルスベスト 8

私たちは男女で、ほぼ毎日活動しています。

男女で活動しているので、他の部活にはない楽しさがあります。人数が多く、一人一人の練習時間は短いけれど、みんなバドミントンが大好きなので一生懸命練習しています。先輩たちのほとんどが初心者です。優しい先輩がしっかりと教えてくれます。練習をすればするほど成果が出て楽しいスポーツです。

ぜひ、いっしょにバドミントンを楽しみましょう！



剣道部

- ◇平成29年度 春季大会：男子団体 3回戦進出
女子団体 1回戦敗退
- ◇平成29年度 県総体：男子団体 2回戦進出
女子団体 1回戦敗退
男子個人 3-5 岩田 学（ベスト16）
- *津市民大会 男子個人 2-4 岡野 太郎（優勝）
- ◇平成29年度 秋季大会：男子団体 ベスト8
男子個人 2-4 岡野 太郎（ベスト16）
- ◇平成29年度 新人大会：男子団体 ベスト8（東海選抜大会 3年連続出場）

～主な行事～

夏：尾鷲高校主催合宿

冬：中京大学主催練成会・関西学院大学主催高校招待試合

*その他、紹介された練成会には、できうる限り参加。

「県ベスト4に向けて」

現在、私たちは、2年生6人、1年生3人の計9人で活動しています。昨年に比べ、絶対的エースの存在はないものの、個々の繋がりを大事にし勝つというスタイルで日々頑張っております。

本県も、私学の壁が厚いですが、“なせばなる！”の精神でベスト4を目指し、一生懸命稽古に励みます。

ラグビー部

- 「平成29年度第67回三重県高校総体」… 第6位
- 「平成29年度第97回全国高校ラグビー三重県大会」… 2回戦敗退
- 「平成29年度第70回三重県ラグビー新人大会 10人制の部」… 第1位で東海交流大会へ出場

【 Where there is a will , there is a way. 】（意志あるところに、道は開ける）

津高ラグビー部の合言葉です。私たちはいつもチャレンジしています。そしてそれは、部活のみではなく、勉強においても、です。また、私たちは、全員が高校に入ってから始めた、いわゆる“初心者”です。それでも、短時間で、効率を求めた、集中力の要求される練習で、平成24年度・26年度には、東海大会にも出場しました。

しかし、私たちの一番の自慢は、90歳近くの大先輩をはじめとするOB会いわば「津高ラグビー部ファミリー」です。そして、そんな部活だからこそ『生涯の友人』を手に入れられることです。



校内芝生練習場

卓球部

◇平成29年度全国総体兼東海総体卓球競技三重県予選会

シングルの部三重県大会 (H29.5.3)

男子2名・女子3名 中勢地区予選通過県大会出場

女子シングルスベスト16 簗原 清花(2年)

ダブルスの部三重県大会 (H29.5.6)

女子ダブルスベスト32 簗原・長崎(2年)組

◇平成29年度三重県高等学校卓球選手権大会

シングルの部三重県大会 (H29.8.23)

男子2名・女子1名 中勢地区予選通過県大会出場

女子シングルベスト32 簗原 清花(2年)

ダブルスの部三重県大会 (H29.8.22)

女子ダブルスベスト16 簗原・長崎(2年)組

◇第55回東海卓球選手権大会 (H.29.11.18) 出場 於静岡県袋井市エコパアリーナ

ジュニア女子シングルの部県代表 簗原 清花(2年)・長崎 由衣(2年)組

◇平成29年度三重県卓球選手権大会兼第70回東京卓球選手権大会予選会

ジュニア男子の部 (H30.1.6) ベスト32 藪内 雅陽(1年)

女子ダブルスの部 (H30.1.7) ベスト16 簗原・長崎(2年)組

「東海卓球選手権大会に出場して」(東海大会出場報告) 2年 簗原 清花(赤目中)

私は11月に静岡県で行われた第57回東海卓球選手権大会に出場しました。各県で代表となった選手はみんなとても上手で会場はとても広く雰囲気は圧倒されました。残念ながら初戦で負けてしまいましたが、この試合に出場した事で技術的に足りない部分を見つけ、他の選手から刺激を受けることができました。とても貴重で良い経験となりました。私たちを支えて下さる顧問の先生、一緒に練習してくれる部員のみんなにとっても感謝しています。引退まで残された時間は少ないですが、日々成長出来るように目標を持ってこれからも頑張りたいと思います。



音楽部

◇平成29年度第84回 NHK 全国学校音楽コンクール三重県コンクール（8月4日）

○ 金賞

◇平成29年度第57回三重県合唱コンクール（8月11日）

○ 金賞 県代表

◇平成29年度第84回 NHK 全国学校音楽コンクール東海北陸ブロックコンクール
（9月3日）

○ 奨励賞

◇平成29年度第70回中部合唱コンクール（9月23日）

○ 金賞

◇平成29年度第29回三重県合唱アンサンブルコンテスト（2月3日）

○ Aチーム 金賞

○ Bチーム 金賞 優秀賞

◇第41回津高音楽部コーラスコンサート（3月30日）



SSC (スーパー・サイエンス・クラブ)

(1) 県外発表会

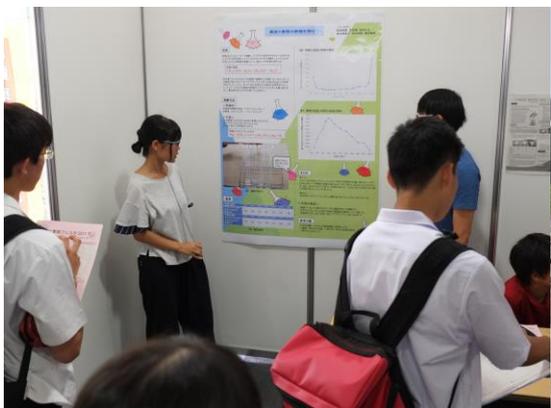
- ・スーパーサイエンスハイスクール東海地区フェスタ2017 (名城大学天白キャンパス)
- ・平成29年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会 (神戸国際展示場)

(2) 県内発表会・イベント等

- ・おもしろ科学教室 (津高校)
- ・青少年のための科学の祭典 (三重大学)
- ・国際科学技術コンテスト強化講座 (伊勢高校)
- ・みえ自然科学フォーラム2017 (三重県総合文化会館) 口頭発表部門最優秀賞
- ・日本農芸化学会 (名城大学)

(3) 科学系オリンピック・コンクール等への出場

- ・物理チャレンジ2017 (津高校)
- ・日本生物学オリンピック2017 (三重大学) 優良賞 1名
- ・化学グランプリ2017 (三重大学) 奨励賞 1名
- ・第10全国数学選手権大会地域予選 (名古屋市中小企業振興会館)
- ・第28回日本数学コンクール (津高校)
- ・三重県科学オリンピック (鈴鹿医療科学大学) 4位
- ・第9回日本地学オリンピック予選 (三重大学)
- ・第28回日本数学オリンピック 優秀賞 1名



東海フェスタ



海遊館研修

陸上競技部

【三重県大会】

◇国民体育大会第一次選考競技会（4月15日～16日）
女子三段跳 4位 3年 北村帆乃香（附属中）

◇三重県高等学校陸上競技春季大会（5月6日～7日）
男子800m 5位 3年 今岡 佑斗（青山中）
女子三段跳 5位 3年 北村帆乃香（附属中）

◇三重県高等学校総合体育大会陸上競技の部（5月28日～30日）
女子三段跳 6位 3年 北村帆乃香（附属中）
男子1500m 8位 3年 今岡 佑斗（青山中）

◇三重県高等学校新人陸上競技選手権大会（9月17日～18日）
女子1500m 7位 1年 市川 巴菜（鼓ヶ浦）



バレーボール部 男子

◆平成 29 年度三重県高等学校バレーボール春季大会（4 月）

1 回戦	津	2	(2 5 - 9	2 5 - 1 7)	0	伊賀白鳳
2 回戦	津	2	(2 5 - 9	2 5 - 2 0)	0	三重
3 回戦	津	2	(2 5 - 1 3	2 5 - 1 5)	0	四日市
準々決勝	津	0	(9 - 2 5	1 6 - 2 5)	2	津工
順位決定戦	津	2	(2 5 - 1 8	2 5 - 2 0)	0	いなべ総合学園
順位決定戦	津	2	(2 5 - 2 1	2 5 - 1 6)	0	相可

最終順位：5 位

◆平成 29 年度三重県高等学校総合体育大会バレーボール競技（5 月）

3 回戦	津	2	(2 1 - 2 5	2 5 - 1 5	2 5 - 1 7)	1	暁
準々決勝	津	1	(2 5 - 1 8	1 9 - 2 5	2 5 - 2 7)	2	皇學館
順位決定戦	津	0	(2 3 - 2 5	2 9 - 3 1)	2	三重	

最終順位：7 位

◆平成 29 年度三重県高等学校バレーボール選手権大会（11 月）

2 回戦	津	2	(2 5 - 1 2	2 5 - 1 3)	0	近大高専
3 回戦	津	2	(2 5 - 2 0	2 5 - 1 8)	0	久居
準々決勝	津	0	(1 0 - 2 5	1 2 - 2 5)	2	海星

最終順位：5 位

バレーボールを通じて、技術面はもちろん人間としても向上するために、チーム一丸となって日々練習に励んでいます。練習や合宿などでは、辛く大変に思うこともありますが、チームみんなで乗り越えてきました。『練習時間+勉強時間』で三重県トップ』『県ベスト4』をチームの目標として頑張って活動しています。



バレーボール部 女子

限られた練習時間を大切に全力で取り組み、県ベスト 16 を目標に頑張っています。人数が少ないので部員全員がとても仲がよく元気で楽しい部活です。部活も勉強も時間を有効に活用することを心がけ、充実した日々を送っています。

4 月 春季大会



5 月 愛知遠征



5 月 県総体



8 月 熊野合宿



バスケットボール部 男子



◇平成27年度新人大会：第3位（東海大会出場）

◇平成27年度県総体：第4位

～活動日～

平日	月曜日、水～金曜日	練習
	火曜日	休養
	隔週木曜日	トレーニング
休日	練習 or 練習試合	

～主な行事～

春：兵庫合宿、大垣合宿
GW：天理合宿
夏：京都合宿、大垣合宿、
冬：クリスマス合宿 in 天理

「東海大会出場を目指して」 2年 石井 洸一 (殿町中学)

僕たち津高校男子バスケットボール部は2年生12人、1年生10人、マネージャー3人の計25人で活動しています。昨年から大会ではよい結果を残すことができていないので、今の課題であるシュート力・フィジカルの強化に力を入れ、目標に向かって練習しています。辛いと思うこともありますが、楽しい仲間がたくさんいることで、乗り越えていけるいいチームです。

県総体まで長くはないですが、ひたすら練習し合宿で経験を積み、満足な状態で試合に臨みたいと思います。

もう一度、東海大会に出られるチームになれるよう、頑張ります。



バスケットボール部 女子

私たちは2年生1人、1年生4人、マネージャー1人の計6人で活動しています。
週5～6日練習・練習試合をして、毎週火曜日が休みです。
少ない人数ですが、基本男子バスケットボール部と練習しているので、とても充実した練習ができます。
部員は学年を超えて仲が良くて、チーム全体で「県大会出場」という目標に向かって日々努力しています。
初心者・経験者問わず大歓迎です！マネージャーも募集しています！
興味のある方はぜひ体育館まで(^▽^)



サッカー部

◇平成28年度新人戦

- 1回戦 津0 - 0 桑名
PK (9 - 8)
- 2回戦 津4 - 0 桑名北
- 3回戦 津0 - 0 名張西・名張青峰
PK (4 - 5)

◇平成29年度インターハイ予選

【1次トーナメント】

- 1回戦 津6 - 0 久居農林
- 2回戦 津0 - 0 四日市中央工業
延長 (0 - 2)

◇平成29年度三重県サッカーリーグ2部B

- 第1節 津1 - 0 津工業2nd
- 第2節 津1 - 2 名張青峰
- 第3節 津2 - 2 桑名
- 第4節 津3 - 9 四日市四郷
- 第5節 津1 - 1 伊勢工業
- 第6節 津5 - 1 神戸
- 第7節 津0 - 9 海星2nd
- 第8節 津1 - 4 いなべ総合学園
- 第9節 津3 - 0 伊賀白鳳2nd
- 3勝4敗2分、勝ち点11のグループ6位

◇平成29年度選手権予選

- 1回戦 津0 - 4 四日市南



硬式テニス部 女子

○部員

2年生 6人 1年生 7人（計13人）

○活動場所

東コート（コートが3面ある方）

○活動日時

平日：放課後 日が暮れるまで

土日：どちらか半日練習

（大会や練習試合で両方潰れることはありますが、基本的には土日のどちらかが休み

なので、遊んだり、学習を進めたりすることもできます）

夏休みに2泊3日の合宿あり

○普段の様子

先輩、後輩の仲が良く、とても楽しい雰囲気です。

団体戦県ベスト8を目標に「ファイト」や「ナイスショット」など、声を掛け合って明るいチーム作りを心掛けています。



初心者、経験者も大歓迎です。きれいにボールを打てた感触はとても気持ちがいいですよ。
ぜひ、一緒に楽しくテニスをしましょう！

硬式テニス部 男子

私はキャプテンに指名された時から不安がありましたが、実際にキャプテンをつとめるということは想像していたよりずっと難しく、自分の中にある理想のキャプテン像とはかけ離れたものでした。

部活内のモチベーションを維持したり、部活動としての雰囲気づくりがなかなかうまくいかない中で、私は「前のキャプテンと比べると、実力もキャプテンとしての力量も劣っている」と感じ、自信がなくなり、ストレスや葛藤に苛まれることがありました。しかし、そんなときには仲間が支えてくれました。私は仲間の大切さを思い知りました。そして新人大会の団体戦でベスト8に入賞することができました。

部活動とは、普段の生活で経験できないことが経験できる特別な場所だと思います。これからも、仲間たちと協力し、お互いを高めあっていきたいと思っています。

2年5組 片岡 義貴

ソフトテニス部（男・女）

男女で仲良く活動しているクラブです。初心者も頑張っています。自主・自律の精神の元、上位進出を狙って部員自ら練習メニューを考え熱心に活動しています。現在は、男子・団体 県ベスト8、個人ベスト16、女子・団体 県ベスト16、個人ベスト16を目指して、日々頑張っています。男女同じ会場で大会が行われることが多く、互いに応援し合いながら頑張っています。

結果

男子団体 第5位 三重県高校総体 平成29年5月28日

男子団体 第5位 三重県高校新人大会 平成29年12月17日

ダンス部

津高校ダンス部「つこだん」です！！私たちは、様々なイベントに向けて、日々元気に活動しています！！いろいろなジャンルに挑戦し、賞をとることを目標にしています。

みんなで頑張る時間は私たちにとって宝物であり、青春そのものです！！初心者でも、経験者でも男子でも女子でも、どなたでも大大大歓迎です！

私たちと一緒に最高の思い出を作りませんか？一緒に青春しましょう！！

これまでの主な受賞は以下の通りです。

◇三重県高体連ダンスフェスティバル

- H. 20 最優秀賞
- H. 23 発想が良かったで賞
- H. 24 かわいかったで賞
- H. 26 想定外な作品展開で魅せたで賞



つこだん 主なイベント

- 8月 すずかフェスティバル
- 12月 三重県高等学校
ダンスフェスティバル

その他、小学校の子ども会や地域の夏祭り、クリスマス会などにも参加する可能性があります♪

ハンドボール部

◇部員数（平成29年度）

- 3年生・・・8人（内マネージャー2人）
- 2年生・・・6人
- 1年生・・・15人（内マネージャー4人）

◇活動状況

- ・平日・・・本校グラウンドにて練習
- ・休日・・・本校グラウンド又は体育館にて練習、他校と練習試合、公式戦等（基本的に土日のどちらかはオフ）

・公式戦

- 5月：県総体（インターハイ予選）
- 11月：新人大会
- 12月：選抜大会県予選会

・その他の大会

- 7月：三幸スポーツマックス杯（中勢地区リーグ戦）、津市民大会
- 8月：県総合選手権（日沖杯）
- 3月：交流大会

・経験者が少なく、初心者でも十分活躍できる部活です。今年度は「1試合でも多くの勝利」をテーマに、生徒が主体となって活動しています。練習時間は短期集中型で、週に1回のオフを基本としており、学習との両立も可能です。

◇過去の成績

平成18年度

県総体ベスト4（過去最高）

平成23年度

県総体ベスト8

第6回ヤマカップリーグ優勝

平成25年度

県新人大会5位

平成29年度

県総体 1回戦

津 17-22 四日市



◇津高校が平成30年度ハンドボールのインターハイ会場に。

現在の1年生が主に運営に携わることになります。三重県全体で素晴らしい大会にするために準備を進めていますが、本校の生徒はその最前線で活躍することになります。そのため、昨年の夏からオフィシャル講習会に参加し、県予選大会や東海大会にてオフィシャルやコート補助員の経験を積んでいます。来年度のハンドボール部員はそのような責任ある立場の中で、普段では味わうことのできない充実感を得ることでしょう。

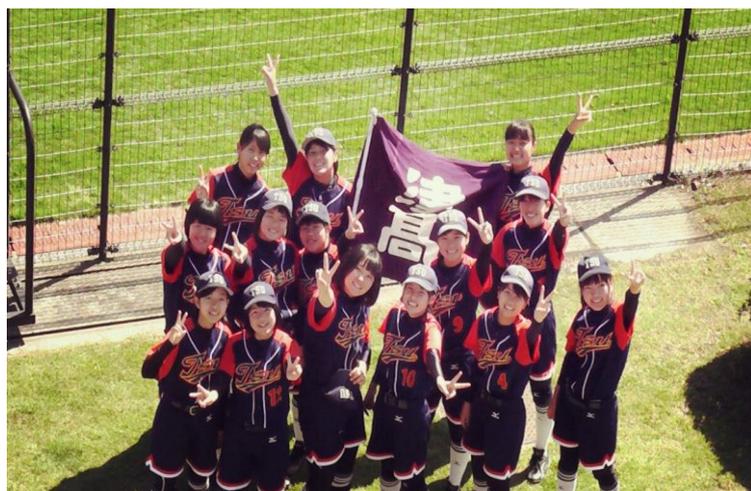
ソフトボール部

◇平成29年度三重県高体連ソフトボール競技県総体（5月27日）ベスト16

◇三重県高校ソフトボール競技秋季大会（9月26日）2部3位

- ・部員数 … 8人（2年4人、1年4人）
- ・活動頻度…平日：練習（放課後～18:30）
土曜日：午前練習 or 合同練習，練習試合
日曜日：基本的には休み
- ・場所 … プール横グラウンド

こんにちは！
私たちソフトボール部は、部員数が8人と少ないですが、同学年だけでなく学年を超えてみんな仲が良く、いつも楽しく活動しています。私たちの目標は「**単独チームでベスト8**」です。ベスト8になるために、限られた時間の中で集中し、密度の高い練習を目指して日々活動しています。しかし、ソフトボールは9人で行うスポーツなので、人数不足で今は単独チームとしては大会に参加することができていません。



「ソフトボールって難しそう。」と思われる方もいるかもしれませんが、部員の中には経験者だけでなく初心者もいます。そして、ソフトボール部は、平日の練習時間も長すぎず、土日のどちらかは休みなので、勉強と部活の両立がしやすい環境にあります。

少しでも興味のある人は、まずはソフトボール部を見にきてください！見学、体験大歓迎です！

たくさんの入部、お待ちしております！！

硬式野球部

春季高校野球中勢地区予選

津 4 - 3 津東
津 0 - 10 久居
津 12 - 2 青山
津 2 - 12 津西

全国高校野球選手権三重大会

津 2 - 4 南伊勢

秋季高校野球中勢地区予選

津 8 - 12 久居
津 0 - 7 津西
津 5 - 8 久居農林

1年生大会

津 0 - 4 津工



軟式野球部

◇三重県高等学校総合体育大会軟式野球競技兼春期大会（4～5月）

2回戦 鈴鹿 1-0 津

◇第62回全国高等学校軟式野球選手権大会兼夏季大会（7月）

1回戦 宇治山田 4-3 津

◇平成29年度三重県高等学校軟式野球秋季大会（9月）

2回戦 三重 1-0 津

私たち軟式野球部は、『東海大会への出場』を目標として、部員17名、マネージャー1名の計18名で日々の練習に励んでいます。限られた時間とスペースの中で、集中して、効率よく、そして積極的に練習に取り組むことを部員全員が強く意識し、元気に明るく楽しく野球をしています。

吹奏楽部

1年生 23人 2年生 10人 3年生 16人

◇平成28年度三重県吹奏楽コンクール(8月11日) 銀賞

◇三重県アンサンブルコンテスト南地区大会 (1月8日)

打楽器五重奏 銀賞 /フルート四重奏 金賞 /サクソ五重奏 金賞・地区代表
/木管七重奏 金賞・地区代表

◇三重県アンサンブルコンテスト (1月)

サクソ五重奏 銀賞

◇個人・重奏コンテスト 三重県大会

個人の部 フルート独奏 銀賞 箕形 友花 (桔梗が丘中)

サクソ独奏 銀賞 鄭 美充 (天栄中)

◇第21回記念津高吹奏楽演奏会(4月1日)

こんにちは！私たち吹奏楽部は毎日仲良く一生懸命練習に励んでいます。たくさんの高校といっしょに演奏するフレンドシップコンサートやコンクール、文化祭など内外で行われる様々な行事にも参加させていただいています。コンクールも学生指揮で出場するなど生徒主体で部活動を運営しているため、色々な壁にぶつかることもありますが、とても充実した日々を過ごしています。たくさんの方々の心に響く音楽を目標に頑張ってきたそんな私たちの集大成である定期演奏会が4月1日に三重県総合文化センター大ホールで行われます。ぜひききにきて下さい♪



美術部

津高校美術部は平日を中心に自由に作品制作に取り組んでいます。

毎週水曜日は、クロッキー会をしています。

夏には2泊3日の合宿で、海や山を感じながら風景画制作等の作品展を見据えた活動を行います。

また11月には津新町商店街で行われる新町フェスタに呼んでいただき、イラストバスというコーナーでバス後方にイラストを描きます。

主な活動目標としては10月と3月の県内高校美術部の展覧会、そして1月の読書感想画コンクールがあります。後者では毎年賞をとるなど良い成績をあげています。



新町フェスタ イラストバス



ホームライフ部

平成 29 年度	1 年	2 年	3 年
活動人数	5 名	14 名	13 名
	32 名		



ホームライフ部はお菓子作りをメインとした部で、月に2回、調理室で活動しています。作る内容は主に2年生部員が決め、季節のお菓子を中心に、チャレンジしたいものを自由に選んで取り組みます。

活動は常に楽しい雰囲気にもまれていきます。先輩と後輩が自然な形でなじみあって、いつの間にかお菓子作りのコツなども引き継がれていきます。



私たちは毎年文化祭で、模擬店「お菓子の家」で蒸しケーキを販売します。蒸しケーキは好評で、毎年たくさんの方々に召し上がっていただいています。去年は、新入部員が少なかったため、たくさんの蒸しケーキを作るのが大変でした。しかし、みんなで協力し、多くの方に「お菓子の家」に来ていただけたので、とても嬉しかったです。手作りのお菓子には、市販のものとは異なる手作りならではのおいしさがあります。友だちや先輩、後輩とお菓子作りはとても楽しく、気分も明るくなります。お菓子や手作りに興味のある方はぜひホームライフ部に来てください。一緒に手作りを楽しみましょう。



日頃の活動風景



文化祭当日の活動風景



茶道部

津高校には表千家と裏千家の二つの茶道部があります。活動はどちらも週に一回で、表千家は水曜日、裏千家は火曜日にお稽古しています。文化祭は自分で浴衣を着て、普段のお稽古の成果を披露しています。和やかな雰囲気の中で季節のお菓子を楽しめる、魅力たっぷりの部です。興味のある方は一度和室をのぞいてみて下さい。

◇表千家茶道部は第37回近畿高等学校総合文化祭大阪大会（11月12日）に参加し、奨励賞をいただきました。

「近畿高等学校総合文化祭大阪大会に出場して」

2年 山本 菜摘（三重大学教育学部附属中学校）

私たち表千家茶道部は11月に行われた近畿高等学校総合文化祭大阪大会に三重県代表として参加しました。今回は茶室についての講演を聞き、お茶会を通して他県の代表の方々と交流をしました。講演会では、普段あまり知ることのできない茶室の畳や窓について教えていただき、会場には材料の実物が展示されていました。とても興味深い内容で茶道の魅力が改めて感じました。お茶会では、大阪の代表チームと組み、順番に亭主側・客側になり茶会に参加しました。私たちが客側だった時、半東の方は自分たちの学校の話や三重県についての質問などをしてくださり、和やかな気持ちでお茶や会話を楽しむことができました。私たちが亭主側の時に私が半東を務めたのですが、お道具の説明することに精一杯になってしまいました。大阪の方のように、半東としてしなければならない事のみをするのではなくお客様により楽しんでいただけるようにすることが重要だと気づきました。

私は、お点前を手順通りにするだけでなく、心のゆとりを持ち、一つ一つの動作に心を込めてお茶を点てられるようにしたいです。今回の貴重な経験を部員全員に伝えて、よりよいお点前ができるよう、日々のお稽古を大切にしていきたいと思っています。



Jr. com部

平成 29 年度	1 年	2 年	3 年
活動人数	8 名	7 名	10 名
25 名			

漫画研究部「Jr. com」は 40 年以上の歴史があります。当時の漫画雑誌で、手塚治虫の「火の鳥」が掲載された「COM」から名付けられました。「手塚先生には及ばない。『Jr. (ジュニア)』をつけよう」と、1967 年に当時 1 年生の 6 人が立ち上げたといわれています。

Jr. com 部は月に 3 回ほど、家庭経営室で活動しています。主な活動内容は、月刊のイラスト冊子「Comらんど」を発行することです。部員全員が個々にテーマに添った作品を制作し、回収、印刷、製本へと作業を進めていきます。各部員は勉強の合間を縫って絵を描いています。

「Comらんど」のテーマは、毎月季節に合ったものとなっていて、クリスマスやお正月、バレンタインなど、どの月も目が離せません。B5 サイズ 20 ページ程の中に、部員たちのユーモアあふれるイラストがつまっており、毎月約 50 部を校内に設置し、生徒や先生方に自由に手に取って見てもらっています。

文化祭は、Jr. com 部の腕の見せ所。いつもより時間をかけ、最高の原稿を仕上げます。そうして完成した「文化祭特別号」は、文化祭でたくさんの方の手に渡ります。また、手書きのイラストをラミネートしたカードやお手軽クリップ、生イラストを使った世界に 1 枚しかない A4 ポスターはどれも数量限定！ 毎年大変好評で早めになくなってしまいますので、気になる方は午前中の早い時間にお越しください。

他の部との兼部も可能です。イラストを描いたり見たりすることの好きな方は、ぜひ活動を見に来てください。



文化祭風景



ジャグリング部

ジャグリング部は週3回程度（イベント前は毎日になることもあります）楽しく活動しています。皆さんはジャグリングとはどのようなものか知っていますか？ジャグリングとはボールやディアボロなどの様々な道具を操るパフォーマンスのことです。地域の祭りや子ども会などから出演依頼を受け、また、9月には文化祭で技を披露します。部員の全員が高校からジャグリングを始めた初心者なので、経験がなくても心配いりません。気軽に来てください！

- H29 年度活動実績
- 6月 社会福祉法人 嬉野カトリックの家（松阪市）
 - 8月 新町小学校夏祭り（津新町）
（津市立 成美小学校学童 ←台風のため中止）
 - 9月 文化祭
 - 10月 朝日新聞にクラブ紹介記事掲載



2017 年度 文化祭（公開）にて

軽音楽部

軽音楽部は、例年部員数が50名前後の大所帯のため、部員が一堂に会することはほとんどなく、基本的に各バンド単位で活動しています。校内での練習は2週間に1度、それ以外の日には個人練習をしています。最大のイベントは文化祭での発表です。非公開日には総合文化センター大ホールのステージでの3年生を中心とした発表、一般公開日には武道場でのライブを行っています。

この他に年数回、夏と春を中心に、アスト津のホール等でライブを行い、演奏を披露しています。近年は、津市民文化祭の軽音楽部門へ参加するバンドもあるなど、対外活動をしているバンドもあります。



邦楽部

初めまして、邦楽部です。邦楽部では2年生3人、1年生5人が週3回、和気藹々とお箏の練習に取り組んでいます。普段は部員主体で練習していますが、週に一度、本校のOGでもある外部講師の方に指導していただいています。主な演奏の場は、9月の文化祭、3月の市民文化祭です。またボランティアの一環として秋には近辺の介護施設での演奏会も行っており、本年も職員の方をはじめ皆さんに大変喜んでいただき大盛況でした。演奏を通して、日本古来の和楽器ならではの、美しく心癒される箏の音色の魅力をお伝えすることが私たちの目標です。みなさんも箏の音色を楽しんでみませんか？

将棋部

◇第41回全国高等学校総合文化祭（将棋部門）兼第53回全国高等学校将棋選手権大会
三重県予選（4月30日）出場

- 男子個人 矢原 圭祐（附属中）
種部 暢（殿町中）
多羅尾 洸（一身田中）

◇第37回近畿高等学校総合文化祭（将棋部門）三重県予選兼第25回三重県高等学校将棋大会（8月6日）出場

- 男子個人 濱口 哲朗（朝陽中）
椿井 友也（亀山中部中）

演劇同好会

◇春期公演（4月11日）

- 「ヘンゼルとグレーテル裁判」開廷

◇津高入門講座（8月23日）

- 生徒ボランティアとして参加

◇文化祭（9月8日、10日）

- 「ルームシェア」上演
- 「仲の良い二人の話」その他2作品上演

◇図書館朗読劇（10月25日）

- 「翼を持つ男」上演

◇第〇回三重県高等学校演劇連盟主催春季大会（3月28日、29日）

- 「幻想は宝玉と共に」上演予定

「演劇は一人では出来ない」

二年 横山 祥子 （豊里中）

演劇同好会で活動してきて二年、私は人と協力して物事を成し遂げる事の大切さとやりがい学びました。

演劇同好会は部員一人ひとりのキャラの濃さはどこの部活にも負けないと思います。そんな個性の塊達が集まって一つの作品を作るとなると、必ず部員同士での意見の衝突が起こります。私はこの部活で部長、脚本、役者、その他様々な仕事を当時の私は周りの人に頼らず一人でしていました。仕事が多いということはそれだけ責任が重いということで、何か衝突がある度に真っ先に責められたのは私だった気がします。こうして私は体力的にも精神的にも一人で仕事を抱えきれなくなり、部員に仕事を任せるようになりました。すると他の部員にも劇に対する責任と情熱が芽生えたように感じました。今までは私が一人で仕事をしてきた分、劇に対する責任と同時に情熱も一人で背負い込んでいたような気がします。こうして全員が情熱を持って楽しんで演じた公演は無事成功を収め、携わった部員全員が胸を張って「皆で頑張った！楽しかった！」と言える舞台になりました。私はこれまでのほとんど仕事を一人でやってきた公演より、全員で頑張って成功を収めたこの舞台の方が公演後の達成感、満足感を何倍にも感じられました。

「演劇は一人では出来ない。」この言葉の意味がよく分かったような気がします。

国際交流同好会

Hello! We belong to the International Communication Club. Our activities are playing games such as “show and tell”, “guessing the meaning of words”, “Apples to Apples”, “Jenga” and so on. Also, we sometimes watch movies in English and have parties on holidays such as Halloween and Christmas. We have two ALTs, Aliena and Jessica. We enjoy talking with them and each other in English. If you join us, you can experience American culture more deeply. We are really looking forward to seeing you and doing our club activities together!

文芸部

毎週火～木曜日に生徒指導室前で部誌を作成、発行しています。主な部誌は小曲集 5 月号・青桐（文化祭のとき）・卒業生感謝号・新入生歓迎号の 4 つです。部誌の発行以外に、詩を作って互いに評価し合うこともあります。文芸の大会（高校文芸みえ）にも出場しています。

3. 個人活動紹介編



「インターハイ高校生活動に参加して」

2年 松林 由起(西橋内中)

皆さんはインターハイの「高校生活動」について知っていますか？私はその活動の中地区委員長、県推進副委員長を務め、インターハイを盛り上げるべく、様々な活動を行ってきました。「高校生活動」は、地元の高校生が、大会の広報活動や来県する選手・監督への手作り記念品の制作、環境美化活動など、大会の成功に向けて取り組むものです。例えば、11月4日に行われた300日前イベントで、世界柔道選手権3連覇・バルセロナオリンピック銀メダリストの小川直也さんと対談させて頂きました。また、FMみえのラジオに出演させて頂き、多くの人にインターハイについて知ってもらうPR活動ができました。活動を通して私は、インターハイはスポーツをしている部活動だけのものではないことを知りました。私は、高校では文化部に所属しているのでインターハイは無縁のもので遠い存在と考えていました。しかし、文化部も含め、たくさんの方が関わっていると実感することができました。昨年に行われた南東北総体で高校生活動をしていた方が「私の青春はこの高校生活動だった」と誇りを持っておっしゃっていました。私もやってよかったと思えるような活動を続けていきたいと思います。



FMみえに出演

第 27 回三重県高等学校英語スピーチ・スキット

・英作文コンテスト スキットの部 準優勝

2 年 横山祥子(豊里中) 豊田日乃(創徳中) 高倉彩夏(松阪西中)

「Being yourself～私達らしい劇を～」

私たちは、「自分らしく生きるために」をテーマに劇をしました。津高校ではこのコンテストのスピーチの部、英作文の部での出場は過去に前例があるが、スキットの部での出場は初めてらしく、出場が確定した時、期待と不安で胸がいっぱいでした。仲間や先生と話し合い、“Being Yourself”というタイトルの脚本ができました。この話は自分の気持ちを正直に言えない主人公のもとに自分はあなたの本音だという人物が現れ、主人公の時に本音に振り回され、時に支えられ成長していく姿を描いた物語で、本音を言えない、そんな誰にでも経験がありそうな事を題材にしました。

コンテストの前には文化祭、前期末考査と忙しく、練習を本格的に始めた時には本番まで一ヶ月しかない時期でした。英語の授業ではあまり使わない表現の台詞も多く、私たちはなかなか台詞を覚える事ができませんでした。

当日も他校は部活としての参加がほとんどで、参加人数は私たちの倍、小道具、衣装、音響も凝っている、私たちの勝ち目はないと思いました。しかし、私たちは「**私たちは他校とは規模が違う。だから他校とは比べられない。私たちの作品はオンリーワンなのだ。私たちらしく楽しもう!**」と、先生や仲間たちと励ましあいました。そうして迎えた本番では、少しのミスはしたものの、全員で楽しんで演じることができ、先生にも今までで一番良い演技だったと言われました。

結果は準優勝で、優勝には手が届きませんでした。私たちはこのコンテストを通して、英語力だけでなく、何事も挑戦することの大切さを学び、ここまで一緒に頑張ってきた仲間との絆を得ることができました。この経験は私たちにとって忘れられない出来事となったと思います。



「三重県高等学校スピーチコンテストに出場して」

1年 前田 桃佳 (三重大学附属中)

私は10月21日に三重県高等学校英語スピーチコンテストに出場しました。この大会では英語で弁論を行い、その内容・発表の態度などを競います。今までに何度か英語の弁論大会に参加したことはありましたが、県全体を対象としている規模の大きい大会に出場したのは初めてだったのでとても良い経験になりました。出場者全員のレベルがとても高く視野が広くなり、より成長するきっかけになりました。

今の時代英語を話せることは当たり前になりつつあります。そんな今、英語で何かを主張できることは将来必ず自分の大きな武器になると思います。自分の意見を考え、それを英語にし、大勢の人の前で発表することは私自身の力を高めてくれました。

もともと英語を話すことは好きでしたがこのコンテストに出場したことで勉強したいという意欲がさらに大きくなりました。これからももっと成長できるように努力し続けていきたいです。

「尾鷲節で悲願の初優勝」

3年 駒田 早代（朝陽中）

津高新聞 300 号より転載

11月12日に尾鷲市で行われた民謡の全国尾鷲節コンクールの一般の部と総合の部において、駒田 早代さん（3年4組）が見事優勝を収めた。



尾鷲節では、声量や「こぶし」などの節回しが評価基準になる。プロからアマチュアまで幅広く参加するこの大会は、今年で32回目だ。駒田さんは中学2年生の時から毎年出場していたが、そのうち3回は惜しくも準優勝であり、悔しい思いをしていた。今年は、いつも仕事の都合で会場に来ることが出来なかった父親や、地元の人が応援に駆けつけてくれ、昨年度より気が引き締まったという。また、本番の振り袖は祖母が買ってくれたもので、母親が着付けてくれた。周りの人の手厚い支えが、駒田さんの優勝を後押しした。

この大会で印象に残ったことについて駒田さんは「予選が2回あり、2回目の予選では1位だった。しかし最終結果発表の時、審査委員長の話で予選の結果を考慮していない、という旨の話を聞き、予選が1位だったとしても優勝とは限らないんだ、また優勝を逃したのか、と焦った」と苦笑した。最後にこの輝かしい結果について「家族や地元の人が応援に来てくれたこの大会で優勝することができて素直に嬉しい。高3というタイミングで、自分にとっていい一区切りになった。将来的にも民謡は続けていきたいし、尾鷲節だけでなく色々な民謡を学びたい」と話した。



「フェンシングのインターハイに出場して」

3年 伊藤 悠貴（三雲中）

私は今年、最高学年として挑んだ春季大会、県総体の両方で優勝し、東海大会においても3位に入ることができました。しかし、インターハイの直前、私は膝を負傷し、医師からはインターハイに向けて出発する前日まで練習できないと言われてしまいました。その時には、あまりのショックに頭が真っ白になりましたが、足が使えなくてもできることをしようと練習に励みました。そして臨んだインターハイ本番、やはり負傷した足の動きの悪さが影響し、予選敗退という結果に終わってしまいました。

津高校に入学してからの3年間、高校にフェンシング部が無いのにも関わらず、顧問として遠征試合の引率をして下さった教頭先生や、いつも応援して下さった担任の先生や友人、様々な部分で支えてくれた両親のおかげで私はフェンシングを続けられたと思っています。そんなたくさんの方たちに結果という形で恩返しができなかったことを、本当に後悔しています。私は今後、大学に進学後も競技を続け、このような後悔を2度としないように精一杯頑張りたいと思っています。そしていつか、今まで私を支えて下さった方たちに、私のことを誇らしく思ってもらえるように、1人のアスリートとして、また1人の人間として成長していきたいです。



東海大会にて 相手に大きく点差をつけた場面

「日本数学オリンピックに出場して」

2年 坂野 智紀(橋南中)

僕は今年の1月8日に行われた第28回日本数学オリンピック(JMO)予選に出場しました。数学オリンピックは、国際数学オリンピック(IMO)ルーマニア大会の日本代表選手候補の選抜も兼ねた数学コンテストで、毎年3000人以上の高校生が参加します。予選では試験時間3時間で12問の問題の解答のみを書く形式となっています。問題を解くのに必要な知識は高校2年の中頃までの内容程度で十分なのですが、難しいのは問題の考え方です。工夫なしで答えを出せる問題もありますが、ほとんどの問題には解きやすい考え方があります。また、ほとんどの人が解けず、問題を読んでも意味が理解できないような問題も2~3問出題されます。

僕はもともと数学や自然科学に興味があり、数学オリンピックの案内を見たとき、これに出たいと思いました。今年はSSHの活動やほかの科学系オリンピックにも参加予定だったのですが、こんな機会は今しかないと思い、参加を決めました。その後6月から12月にかけてほかの参加メンバーと勉強会をしました。その時に問いていた過去問はあまり解けていませんでした。しかし、当日は問題が思う以上に解け、予選通過にはあと1問分足りなかったものの関西地区の地区表彰を受けました。

高校の勉強は受験が後にあることもあり、どうしても「正解する」ということが必要とされます。しかしこの数学オリンピックは問題を「楽しむ」といった面が大きいのので、とても良い経験となりました。

「競技かるたの魅力」

1年 中川 智賀（嬉野中）

『次の札 読まれるまでの 一秒を 暑さと共に じっと耐え抜く』

私はこの短歌で佐佐木信綱顕彰会において、三重県知事賞を頂きました。これは、私の趣味である競技かるたをしている時のことを詠んだものです。前の札が読み終わり、次の札が読まれるまでのたった一秒のピリピリとした緊張感を表現しました。

私が競技かるたに出会ったのは小学校六年生の時でした。きっかけは、競技かるたを題材にしたある漫画でした。それを読んだとき、今まで『ただの遊び』だった百人一首が、私の中で『スポーツ』に変わりました。そして私もそれをやってみたいと思い、家にあった百人一首で一人で練習を始めました。始めたころは十首程しか覚えておらず、なかなか速く取れないことを悔しく思ったことを今でも覚えています。でもだんだん覚えてきて、少しずつですが速く取れるようになるのがとても嬉しくて、何より楽しかったです。高校に入ってから時間はなかなか取れず、やる機会も減ってしまいましたが、今でも時間があるときはかるたを楽しんでやっています。

私は、かるたは素晴らしい日本の文化であり、スポーツだと思っています。ですが友達にかるたの話をして、「何が面白いの？」といわれることが多いのです。私がかるとやるきっかけとなった漫画のおかげで競技かるたは徐々に盛んになっていますが、まだまだ認知度は低く、競技人口もほかの競技に比べると多いとは言えません。競技かるたの魅力は数えきれないほどたくさんあります。私は競技かるたの面白さは、**それぞれの札に色がある**ところにあると思います。百人一首は白と黒で印刷されたただの札ですが、それぞれには色があると私は思っています。あの一枚一枚にはそれを詠んだ人の**思い**や、その人が感じた**匂い**、**音**、**景色**などが込められているのです。その色が、札が読まれた瞬間にぱっと広がり、まさに**千年前とつながった気分**になれるのです。そんな競技はなかなかないと思うし、この魅力に気づいてしまったら、競技かるたをやらずにはいられないと思います。

受賞のことを耳にしたときは、嬉しさよりも驚きの方がとても大きかったです。かるたをしている時の気持ちをそのままに表しただけだったので、そこが評価されたことはとても嬉しく感じましたが、まさか三重県知事賞という大きな賞を頂けるとは思ってもいませんでした。表彰式では、「**かるたをしている光景がありありと分かって良い**」「**一秒という一瞬に焦点を合わせたことが良い**」と評価していただきました。私はこの短歌を作るとき、「自分の好きなことをテーマにして作りたい」と思いました。そして真っ先に思いついたのがやはり競技かるたでした。競技かるたをしている時の気持ちをそのままに表現したいと思って、制作には一週間ほどかかりました。作り終わった後も、もっと工夫できるところはないか、もっと伝わりやすい表現はないかなど、ずっと考えていました。今回作ったこの短歌を多くの人に読んでもらい、少しでも競技かるたに興味を持っていただきたいです。そして来年も、次は信綱大賞を目指して短歌を作りたいと思います。

第 63 回青少年読書感想文全国コンクール

三重県審査 優秀賞 優秀一席

「命売ります」

(対象図書：『命売ります』三島由紀夫著 筑摩書房)

2年 中田 ジョエル健 (久保中)

「命売ります。」読んで字の如く、これは主人公が命を売りに出すという話だ。ある日、主人公が新聞を読んでいると内側のページが「自分の脱皮した皮がズリ落ちる」ようにテーブルの下へ潜り込んだ。拾い上げて目を通そうとすると、活字が「みんなゴキブリに」になってしまう。途端に彼は世の中を動かしている世の仕組みを理解し、自殺を試みる。

この作品に於けるキーワードは「無意味」である。主人公は後に、自分を襲ったゴキブリの行列は「無意味」の化身だったと明かしている。

さて、僕がこの非合理性を理解できると述べても一笑に付されるかも知れないが、それでも確かに僕はこの理不尽な思考回路には身に覚えがある。主人公には自分との多くの共通点があるのだ。

かなり主観的な評価だが、僕は自身を人一倍ロジカルな思考の持ち主であり、それでいて情の厚さも持ち合わせた人物だと見なしている。

ところが、そういった性格と矛盾した、非合理的な行動を取ろうとする感情や病的な無関心が、自分の心の中に同居している事を日常生活において痛烈に実感している。

先程、主人公には共感できる点が多いと述べたが、その最たる点が「行動に感情や打算のない、つまり投げやりさがある」というものだ。僕は日頃から感じている自らの心の内の矛盾や葛藤を同じく抱えているであろう主人公の出現に少し感動した。そして、著者も同じものに苛まれた一人だろう。というのも、この作品はエンターテインメント性が色濃く表された小説であるが、作中の至る所に抽象的な、または逆説的なメッセージが散りばめられており、それらに作者の人生観が強く投影されているのを感じずにはいられないからである。

さて、主人公は自殺に失敗するのだが、自分の命が必要だとも思えなかったため新聞に「命売ります」との広告を載せる。これがきっかけとなり命懸けの仕事を次々に依頼されるが、全く自分の命を顧みずこなしていく。

その中で主人公がこう思う場面がある。「どうして人々はそんなに生きたいのだろうか？ 死の危険にもさらされていない人間が生きたいなど感じるのは不自然な感情ではないだろうか。」これは、僕がかねてから疑問に思っていた事でもある。人間には、一生命体としての生存本能が備わっているが、この本能の働きを平時から無意識のうちに糧として日常生活を営んでいるに違いない。僕はそう結論づけているが、主人公も同様の感想を抱いているようであった。

つまり、主人公を「命売ります」という退廃的な行為に導いたのは生存本能が欠如しているという不自然な状況に他ならない。

僕はそれほどまでに墮してはいないが、それでもやはり自分の命が何も分からぬまま一瞬で消えるのならそれでも良いと思っている。

僕には人間関係や学業の不振などといった世俗的な悩みの一つもないし、寧ろ今日に至るまで誰からも羨ましがられるような華々しい人生を送ってきたが、心に「無意味」に襲いかかる「無意味」に憑かれてしまえば忽ちにして世界観が狂ってくる事は否応無しに知っている。抽象的な表現にしかならないが、僕にはこの現象をこれ以上詳細に説明する事ができない。

ところで、命を売る主人公だが、いつもすんでの所で偶然にも生き延びてしまう。何度も死地をくぐり抜けるうちに主人公に新たな感情が芽生える。それは「生きたい」という



ものである。

非常にふざけた展開である。生への欲求とはおよそ無縁であると思われていた主人公にそんな感情が生まれるとは予想外だった。しかし、人生がふざけた偶然や非合理にまみれているのは当然の事だ。

「人事を尽くして天命を待つ」と言うが、人事を尽くす気力があまり無い僕にこの本は当たり前前の事を教えてくれた。人事と無関係の次元で、天命は予測不可で複雑な変化を絶えず続けているのだ。この事こそが、主人公が理解した「世の仕組み」であるに違いない。

今僕はかつての自分の様に積極的ではないし、あえてその頃の様になろうと思う訳ではないが、心の奥底には積極性を回復しようという欲求或いは本能が眠っているのかもしれない。

逆説的だが、主人公が命を売りに出したのは生存欲求を得るためだったと言えないだろうか。「死に直面していない人が生きようとするのは不自然だ」と考えていた彼は、自ら命を危険に晒す事で生への渴望を得られると心の片隅で理解していたのかも知れない。

僕には、命を売る程ではないにせよ投げやりな行動力はあるつもりだ。そんな僕だからこそ、大きな変化をもたらす事ができる筈だ。

案外、僕も変わるかも知れない。

三重県審査 優秀賞

世の中に絶えて桜のなかりせば

(対象図書：『贗作・桜の森の満開の下』 野田秀樹著 新潮社)

2年 福田 理和子 (三重大学附属中)

「世の中に絶えて桜のなかりせば春の心はのどけからまし。」在原業平はこの歌を詠んだ時、何を思ったのでしょうか。私はきっと、彼は満開の桜の桃色の陰に隠れた恐ろしさに気づいたのだと思うのです。人々を狂わせてしまう桜を怖れたのだと、私は思うのです。

「君はもっと頑張っていたほうが良いと思う。」一年生のとき、演劇部での公演のあと、私は尊敬する先輩にそう言われました。「何故」という気持ちだけが私の胸の内にもうずまきました。私の演技はそれほどまでに酷いものだったろうか。これまでの私の頑張りには認められないのか。それからずっと、先輩のその言葉が私の胸の中に居座っているのです。私が、頑張っって何かを手に入れたい、こんな自分になりたいと強く思うたびに、先輩の言葉が私の心にブレーキをかけてしまうのです。どうせ、私なんか頑張ったって自分を変えることなんてできない。またあの日のように認められないで終わっていくだけだ。自分さえ変えることのできない人間が、他人の心を動かすことのできる演技などできる訳がないのだ、と。そのうちに、私の心の「どきどきわくわく」は消え、ただ永遠に平坦な道が続いていたのです。大好きだった演劇も先輩も大嫌いになりました。

そんな中、私が出会ったのが『贗作・桜の森の満開の下』なのです。表紙の、真赤な桜のおどろおどろしさと、「贗作」という言葉に惹かれてこの本を手に取りました。まるで劇の台本のような文章の書き方に戸惑いながら、しかし新鮮さも覚えながら私はその物語の異様さにのめり込んでいきました。

この物語には鬼と人が同じ世界に住んでいます。しかし、鬼は人の目に見えず、黒子のような仕事をしているのです。人を馬鹿にしながらも人になりたいと焦がれ、人になれても鬼であることを隠してでしか生きてゆけない。人に虐げられながら生きていく鬼の生き方を見て、私は、悲しい奴らだとか滑稽だと思うことはありませんでした。私だってこの鬼と同じだと思ったのです。自分が本当に生きたいようにしてしまえば、大衆の目の敵にされてしまうと恐れ、怯え、私は毎日を過ごしているのです。大衆に支配されて生きるのは息苦しく、つらいということは鬼以上に私は知っているのです。でも、もし鬼が人になったとしても、それは鬼であった自分を殺して生きているのだから、心のどこかではあ

の日は懐かしいとか、あの日のほうが良かっただなんて思うのでしょうか。私は、身の丈に合わない望みは、それが叶ったとしても自分にとって息苦しく、つらいということに変わりはないのだろうと思うのです。結局、鬼であっても人であっても、何も変わらないのでしょうか。

しかし、私のその考えは、異様な物語の中でもとび抜けて異常だった夜長姫に塗り替えられました。

ところで、ある男は人生がずっと下り坂であればどんなに楽だろう、と言うのです。しかし、人は下り続けていけるほど強くないと私は思うのです。どこかでブレーキをかけて引き返してしまう。しかし、夜長姫にはそのブレーキがないのです。私は、そんな彼女を羨ましく思いました。「わくわくどきどき」のない、平坦な道にいる私と違い、彼女には「わくわくどきどき」に満ちた毎日があるのだろうと。私は、ブレーキをかけていたこれまでの自分を後悔しました。坂を下っていくことを恐れてはいけない、ブレーキをかけたままの人生の何が一体楽しいのでしょうか、いや、何も楽しいことなんてないのでしょうか。

私が大嫌いになった演劇。でも、今であれば、この本を読み終えた今なら、私の演技の何がいけなかったのか、何が足りなかったのか分かります。呪うか殺すか争うかするほど強い思いがなければ、素晴らしいものは完成しないのです。私には、その強い気持ちがなかったのです。誰かを変える劇を作り上げようという気持ちが足りていなかったのです。私の心は空っぽで、それと同じように私の演技も空っぽだったのです。でも、今なら先輩をも感動させる劇ができる気がします。

「あんたなんか大嫌いだ。私の演技を見てあの日のことをずっと、後悔すればいい。」
そう呪えばいいのですから。

もしこの世に桜がなかったならば、春をのどかな気持ちで過ごせただろうに、なんて昔の歌人は詠んだけれども、私は、桜はそういう、人の心を狂わせてしまうものでないといけないと考えるのです。桜に心を狂わされ、笑いながら下り坂を自転車で行く、そんな人生はきっと、息苦しく平坦な道に行く、つまらない私の人生よりよっぽど生きがいのある、美しく、素敵なものになると思うのです。桜の森の満開の下、ひとつも物音がない中で、私も美しい桜に狂わされてしまいたいと、心のどこかでは願っているのです。

三重県審査 優秀賞

トーキョー・プリズンと戦争の闇

(対象図書：『トーキョー・プリズン』 柳広司著 角川書店)

2年 辻岡 優奈(明和中)

闇。私がこの本を読んで最初に思ったことは、人間は誰もが、厳し過ぎる状況や、そこでの些細な出来事がきっかけで、心に深い闇や歪んだ狂気を抱き得る存在であるということだ。

戦後の日本の監獄での連続密室殺人事件。その謎に、普通なら着目しない観点から、常人では考えつかない考えで切り込んでいく、記憶を失った戦争犯罪人キジマの推理。さらに最後まで全く関係があると思っていなかった、主人公フェアフィールドの親友クリスの行方と監獄殺人との意外なつながり。その節々で感じられる、戦争によってもたらされてしまった苦しみ。痛快な伏線や推理もさることながら、ひととき私の注意を引いたのは、やはり所々に表現された、戦争がもたらした苦しみや狂気だった。

戦争は、私たちが子どもの頃から何の幸せも生まれえない、絶対に繰り返してはならない人類の大きな過ちとして、散々学校などで教え込まれてきた。戦争ものの映画鑑賞会も定期的に行われたし、道徳の時間を使って、戦争についての話し合いや、戦争を経験してきた方などに話を聞く会なども催された。

その甲斐あってか、私たちの多くは、戦争はしてはならないものだという絶対に近い認

識を持っていると思うし、今後も起こってほしくないという願いも強く持っていると思う。

しかし、私はその思いを感じながら、学校の授業ですること以外は、自分から戦争についての情報を集めることをしなかった。おそらく、そういった人が同じ年の人たちの中にもたくさん居ると思う。そんな私に、この本は多くの衝撃をもたらした。

小・中学校で学んだ、戦争についてのことは、戦いや兵器がもたらす被害や、それによって失われる命、傷付いた人々についてであったり、またそれによって起こる食料不足や医療の不行き届きのために強いられる一般人の貧困が主だった。しかし、巻き込まれた一般市民の視点だけでは見えてこないものもある。例えば、戦場で戦っていた兵士たち。また、捕虜となった兵士や、それを管理する軍人である監守。こういった人たちのことは、小・中学校での学習ではあまり見えてこなかったのではないだろうか。

この本には、それらが外国の軍人の観点を含め、色濃く書かれている。例えば、記憶を失った戦争犯罪人キジマは、外国人捕虜を対象とする監獄の監守長だった。まだ学生だった頃の彼は、聡明で公正な好青年だった。しかし、捕虜を虐待したとする彼は、戦争で変わってしまった。捕虜たちの管理のために出来る限りの事をしようと思気込んでいたキジマだが、捕虜のためにしている事が捕虜への体罰に抵抗が無くなった彼は、その行為に楽しみすら見出し、「これが本当の自分なのだ」と絶望する。

また、キジマの親友であったイツオは、キジマと共に離島に出兵するが、「敵国の兵士だから殺しても良いんだ」という、戦争による倫理的抑制の欠如から、捕まえた捕虜を虐殺し、その肉を喰らうという、人道に背いた行為を実行した。

私は、彼らが悪いとは思わない。正確には彼らの行為は許されない事だが、彼らの元の人格が邪悪だとは思わない。彼らが今の私たちの時代を生きていたとしたら、何の問題も無く、人並みに幸せな人生を送れたであろう。彼らの人格が歪んでしまったのは、戦争が起こったからだ。

人は誰でも、心の奥底に闇や狂気を抱えているものだと思う。しかし彼らが、平穏な日常生活で表れることはあまり無い。戦争があったからこそ、彼らは壊れてしまったのだ。

逆を言えば、戦争のような「人を殺しても問題無い」というような、倫理的抑制がきかない状況であれば、私たちも彼らと同じようになるかもしれないということだ。誰もが理性を失い、狂気を孕んだ、殺伐とした世界。現代の日本では考えにくい事かもしれないが、そんな世界にならないという保証は無い。

何度も言うが、そのような状況下で、狂気に取りつかれた人間を、私は極悪とは思わない。そのような状態にさせた、社会の状況が原因であり悪なのだとは私は思う。

「戦争は、絶対にしてはならない。」この言葉を深く考え、本気で口にする人間が果たして何人くらい存在するだろうか。口にするのは簡単な事だ。大切なのは、「戦争はしてはならない」という言葉を既成事実として当たり前前の事だと認識し、それ以上深く考えない、という事を今すぐやめることだ。戦争について自らの意志で考え、再認識し、戦争への抑止力となることだ。

私たち一人一人にできる事は少ないかもしれない。しかしあと二年で獲得する選挙権など、その機会がもたらされた時、強い意志で戦争に反対していく姿勢が大切であると私は考える。

三重県審査 優秀賞

人間の善と悪

(対象図書：ジーキル博士とハイド氏』 スティーヴンソン著 新潮社)

1年 市川 巴菜 (鼓ヶ浦中)

私は元々友達が多いほうではない。小中学校の間は、本当に気負わずにいられる人と一緒にいることが多かった。人に合わせて行動することが苦手で、だからこそ友達を選んで

今まで過ごしてきた。「そんな私に友達なんてできるのだろうか。」入学式前の私の頭の中は、その思いでいっぱいだった。

でも、一人の友達ができた。私の入学後一人目の友達は、今までの友達のタイプとは全く別の人で、共通の趣味や興味があるわけではない。なぜ仲良くなったのかと聞かれてもよくわからない。何か私は彼女に惹かれるものがあった。

『ジーキル博士とハイド氏』を読んで、私はなぜ彼女に惹かれるのか、わかった気がする。彼女の良さを理解できた気がするのだ。

ジーキル博士は高貴で勤勉で善良な人であり、社会的地位も持つ。しかし、それゆえに若い頃から自分の快樂、つまり犯した罪を隠蔽するという二重の生活を送ってきた。博士は長年の研究の末、その善と悪を全く分離させる薬の開発に成功するが、やがてその薬は自身の破滅を招くことになる。

この本を読み終えたとき、私は素直に博士の作った薬が欲しいと思った。たとえそれが、いずれ自分を滅ぼしてしまうとしてもだ。世界の大部分の人は自分の悪い部分、意地汚い部分、そういったものを隠そうとする。私も例外ではない。どちらかという、ジーキル博士のように、なるべく完璧に隠蔽しようとする。どのクラスメートにも優しく接し、悪口は避け、先生の顔色を窺いながら学校生活を過ごしてきた。だが、この自分は偽者ではないと断言できる。皆にいい顔をしている私は、完全なる私である。こういう人物でありたいという、自分の思い描く人物像に従って、自分の意志で行動している結果だから、嘘だといえないはずだ。たとえ、それが感情のままにした行動とは異なっていたとしても、その行動から人は判断される。他人が感じる私に対しての感情が、私という人物を作っていくのだから、他人から見た私は偽善者ではないのである。

しかし、私はごくたまにある想像をしてしまう。それは、「今ここで私が暴れたらどうなるんだろう」とか「人を殴ったら…」とか想像してしまうのである。自分が絶対にしないことだとしても、そのせいで全てが壊れてしまうと容易に想像でき、気が付くと私は胸が高鳴っている。見てほしくない悪の自分を見てほしいと思っている自分がある。ジーキル博士も同じだったのではないか。本書には善悪を分離させることで「人生から一切の堪えがたいものがとり除かれる」という博士の見解がある。私はこの「堪えがたいもの」とは、知られたら地位も名誉も失ってしまうような悪が、バレてしまうかもしれないという不安や怖れではないと思う。全てを曝け出したいのに出せない、悪の自分を見せないようにしなくてはならないという苦痛、ストレスからくるものなのではないかと思う。

博士が、薬によって次第に善を失っていったことから、人の善と悪の分離は不可能だとわかる。残念ながら私たちは、その苦痛に耐えるしかないのだ。趣味や娯楽など何かしらの方法で発散し、毎日を善く正しく生きるしかない。分けられないのだ。うまく自分の善悪と付き合っていくほかに方法はない。

だがこの悪をうまくコントロールできないと自分が犯罪者になってしまう可能性もある。よくテレビで犯人を知る人が「まさかあの人殺人を犯すなんて」と言うのを耳にする。これは私と同様の衝動が制御不能になった結果だと思う。全ての殺人がそうだとはいえないが、「殺したい」気持ちの一因には挙げられるのではないだろうか。かつて名大生が元同級生に毒を飲ませるとい事件があった。私はこの犯人の気持ちを理解することはできない。でも、他人事だと思えない自分も今確かにここにいる。常に私の中にいる悪が、いつか止められなくなるのではと、この本を読み怖くなった。

そうならないためには、単純に考えると全てを曝け出せばいい。善も悪もどちらも人に見てもらうのだ。だが、それが困難を極めることは百も承知で、人は皆人に好かれたいと思うから善人であろうとする。私はそれが普通だと思っていた。

しかし、私の一人目の友達は違った。正しいと思ったことはするし、間違いだと思ったことは遠慮なく毒を吐く。その言葉が明らかに人を傷つける内容だったとしても言う。もちろん、彼女の行動が全て正しいとはいえないし、彼女自身もそのことは分かっている。でも、私は彼女を見ていると清々しく感じる。自分に嘘をつかない姿が、私には眩しい。全ての人彼女のように生きられるわけではないが、なぜ惹かれるのかと聞かれれば、善と悪をどちらも出し、彼女が彼女自身に嘘をついていないからだとはっきり言える。

第 29 回読書感想文画三重県コンクール

指定読書の部 最優秀賞

「つながるカケラ」

(対象図書：『人はなぜ星を見上げるのか

星と人をつなぐ仕事』 高橋真理子著 新日本出版社)

2年 宇陀 二千佳 (東観中)

死は生のはじまりであるということと、被災地の人々にとって星空は救いであったことが印象に残りました。私にとっていつでも見れる星が、誰かの希望になっていることに感動しました。背中を向けた天使は亡くなった人を表し、羽の生えた馬はこれから生きていく命と希望をイメージしました。赤色で馬にスパッタリングをし、命を表しました。馬と天使をつくっているかけらは星で、星と命のつながりを表現しました。



自由読書の部 最優秀賞

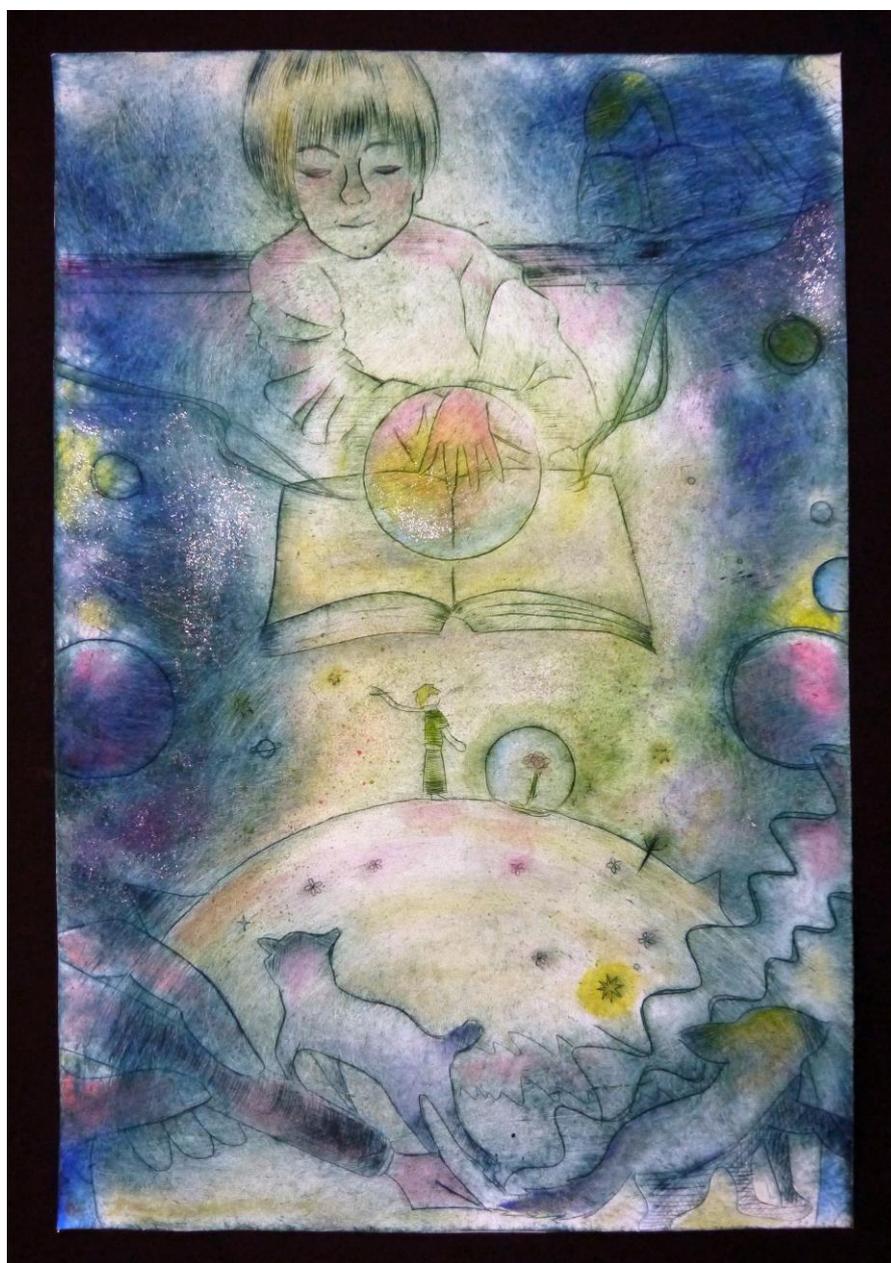
「見えないもの」

(対象図書：『星の王子さま』 サン＝テグジュペリ 著

新潮社)

2年 森 麻菜 (鼓ヶ浦中)

筆者がこの本を書いたから時と国境を越えて今の子供たちや大人にまでも読み継がれていることに感動しました。そしてまさにこのつながりが目に見えない大切なものではないかと思い、想いのつながりを描きました。大切なものは目に見えないのでどのように表現すればいいか悩みました。筆者が書いてから私たちに届くまでのつながりが優しく描けていたらうれしいです。



ビブリオバトルに参加して

2年 下地 なつめ（輪内中）

ビブリオバトルというのはおすすめの本を紹介しあってどの本が一番面白いかわかるというのが大まかなルールです。本の内容ではなくトークの面白さが基準になったり、そもそも本の面白さは比べられるのか？など、疑問点や「読書の楽しさを広める」という本筋からの脱線は確かにあります。しかし、本の面白さを共有できたり、プレゼン能力がアップしたり、いいところもたっぷりあります。

ビブリオバトルには、本好きがたくさん集まっています。「この本の面白さを語り合いたいのにな、読んでいない人がいない・・・」とお悩みのあなた、ビブリオバトルに参加してみたら、同じ悩みを抱えてもんもんとしている人に会えるかもしれません。特に、あまり有名でない本で「あなたもこれ読んでるの？私も読んでる！」というやりとりができた時は最高です。同志！とがっしり手を握り合いたい気分になります。共通の趣味の友達ができるいいチャンスです。

読書はお金のかからずスペースのとらない手軽な趣味です。だけど、まず何を読んでいいかわからない、という方にもビブリオバトルはおすすめです。最近は本屋さんで開催されるなど日常に浸透しているものになっています。何人かの友達と集まってまったりと好きな本を語り合うところからはじめてもいいかもしれません。「バトル」なんですよ？じゃあ、勝ちを狙いに行きます！という強気な方には、差し出がましいですが、私からいくつかアドバイスをさせていただきます。

① あまり有名な本を選ばないこと

ビブリオバトルは、先ほども書きましたが、読書量豊富な方が多いです。有名な本だと、すでに読んでいる可能性があります。

② 順番は最後の方にする

公式のルールは、発表に5分、質疑応答に3分です。人数が多いと一時間かかることもあり、最初の方だと印象が薄れます。くじ引きで決める場合もありますが、選ばせてもらえるなら最後がおすすめ。

③ 好きな本を選ぶこと！

やっぱり好きな本だとモチベーション上がりますからね！

私がビブリオバトルを始めたきっかけは、中学校の時の学校ごとの大会に参加したときです。大勢の前で発表したのですごく緊張しましたが、観客の皆さんが笑ってくれたので、すごく達成感がありました。好きな本を、一人で楽しむのもいいですが、ほかの人に広めていくことの楽しさはまた格別です。紹介される本も幅広く、キノコ好きが高じてキノコの図鑑を紹介している方もいました。キノコの図鑑を読むなど考えてもみなかったのですが、その方の発表にとっても引き付けられたのでいつか読んでみようという心を決めました。

自分の普段読まないジャンルに出会えるという点でもビブリオバトルは魅力的だと思います。

来年は受験勉強に忙しく、ビブリオバトルをする余裕はないでしょうが、大学に入ったら、また何かの機会に参加しようとたくらんでいます。みなさんもぜひ、お暇なときに

参加してみてください。きっとハマりますよ！



「全国高等学校ビブリオバトル 2017 東海大会に参加して」

2年 中芝 美紅(尾鷲中)

私は10月9日に行われた全国高等学校ビブリオバトル2017東海大会にバトラーとして出場させていただきました。紹介した本は、小島達矢さんのデビュー作「ベンハムの独楽」です。こんなに規模の大きい大会に出場するのははじめてのことだったので、どんなふうにも本のことをお話ししたものか、と悩みました。いつもは原稿を書かずに、これだけは忘れずに伝えたい、この本を語るのに欠かせない、という点だけ意識するようにして、比較的自由に五分間のお話をしていました。それは中学生のころに読んだビブリオバトルを題材とした小説の、スピーチの五分間は誰にも邪魔されずに自分の大好きな本について語ることができる時間だ、という考え方に感銘を受けたからです。結局今回のバトルも、どんな場でも本を楽しく語りたいたいという気持ちを忘れるまいと思ひ、原稿を書かずに臨みました。お客さんたちとコンタクトをとりながら、楽しくお話をするのができたと思います。

また、東海大会ということで、バトラーの数も多く、それぞれが個性的でとてもおもしろいバトルでした。まさに「本を通して人を知る、人を通して本を知る」というビブリオバトルだったと感じました。その人の好きな本を知る、あるいは読む、またはその人の語る姿を見ることでその人の意外な一面を知ることができるというのがビブリオバトルのおもしろいところです。たとえば、いかにもいまどきの女子高生らしくスカートを短くした無愛想な感じの女の子が、嬉々として自分が尊敬している天文学の博士について語りながら海外のスペースファンタジーを紹介していたり、柔和そうなおっとりとした語り口の女の子が、狂気の学校からの脱出劇をえがくなかなか猟奇的な小説を紹介していたり……。今回のバトルでは、他のバトラーさんと初対面だったので、より強くそのおもしろさを感じました。でも案外、近しい友人にでも本の趣味をきくと意外な一面がみえるかもしれませんね。

この大会に出場して、たくさん本を知り、人を知り、いろんなことを考えることができ、とても充実した一日を過ごすことができました。ビブリオバトルがとても素晴らしい催しであると再認識し、ビブリオバトルのますますの興隆を願うばかりです。



たくさん食べることはもちろん大事ですが、食べると、それだけ体はカロリーを摂取することになります。この摂取したカロリーを、運動によって消費する、これが健康な体を保つためにはとても大事な事なのです。寒いお正月に、こたつに入りながらお餅やみかんを食べていたら、短期間なのにかなり太ってしまったという人がいると思います。それは、カロリーがたくさん含まれるお餅などを食べているにも関わらず、ほとんど運動しないからなのです。先ほど述べた肥満を防ぐためにも、運動はとても大事だということです。

ここで、僕が日頃から実践している、無駄な脂肪をつけないための心掛けをいくつか紹介します。

まず、食事は毎回お腹いっぱいになるまで食べるようにしています。今回は少なめでいいか、と量を減らしてしまうと、次食べるまでにお腹がとてもすいてしまい、食べた時に体が自らカロリーを摂取しすぎてしまうからです。

また、ジュースは、運動中のスポーツドリンクを除き、なるべく砂糖が入っていないものを飲むようにしています。夕食後は一切飲まないようにしています。寝る前に砂糖を吸収すると、それが寝ている間に脂肪になりやすいからです。

しかし、朝は好きな物を食べて学校に行きます。朝に蓄えた砂糖などは、学校に行って授業を受けたり、部活動で運動しているときに燃焼されるからです。

以上が、僕の実践している事です。夜に高カロリーの物をおさえるだけでも効果があると思うので、是非試してみてください。

先ほど述べたように、私は毎回お腹いっぱい食べます。それは脂肪がつくのを防ぐためと、もうひとつ理由があります。

僕は、部活はラグビー部に所属しています。ラグビーは人と当たるスポーツなので、体が大きい方が有利です。だから、毎回たくさん食べて体を大きくしています。それも、脂肪をつけるのは意味がありません。この文章を通して述べてきた「食べること」と「運動すること」の二つがしっかり噛み合って、どっしりした強い体をつくることのできるのです。

皆さんが考える、健康は色々あると思います。僕は、「食べること」と「運動すること」は生活の基本だと思います。自分の体の一番の理解者は自分でしょうから、毎日自分の体と向き合いながら、心身共に健康に過ごしていきましょう。